Panasonic

取扱説明書

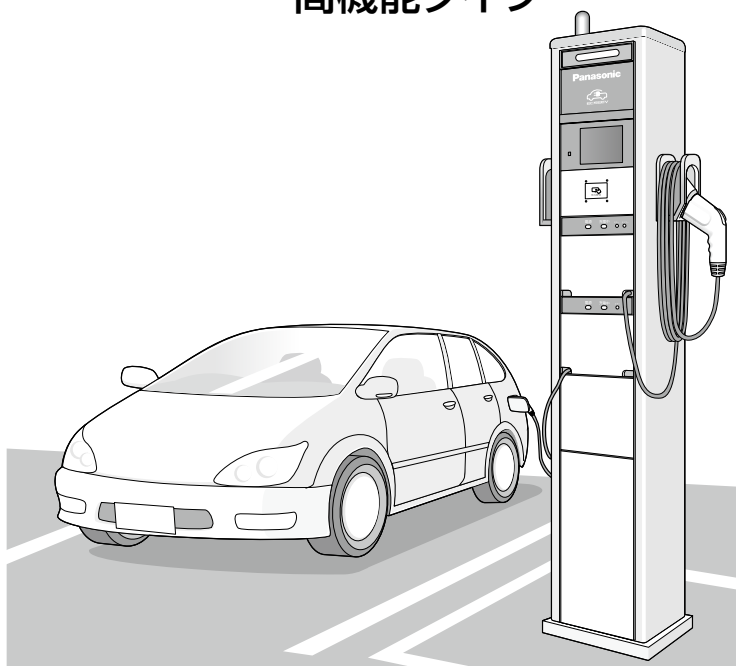
EV･PHEV充電用 充電スタンド

品番　AF-XC300N1, AF-XC300W1
AF-XC330C1, AF-XC330W1
AF-XC330R1, AF-XC330N1

EV･PHEV充電用　充電スタンド

エルシーヴ

ELSEEV

高機能タイプ

保証書別添付

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に**「安全上のご注意」(6～7ページ)を必ずお読みください。**

■保証書（別添付）はお買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

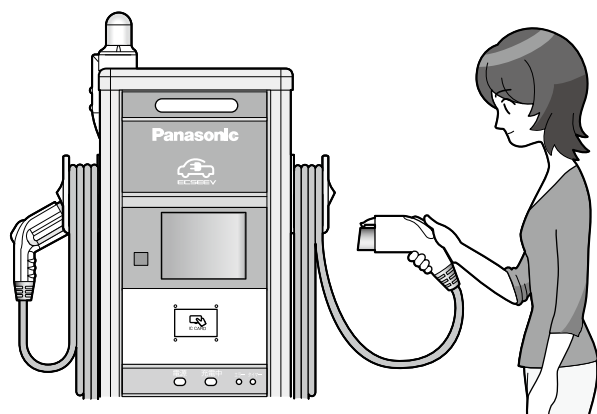
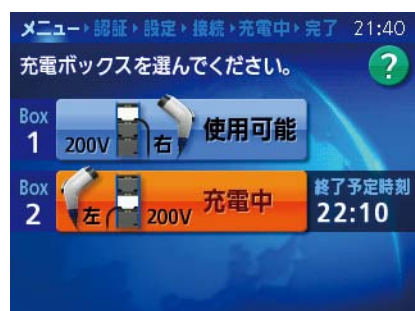
施工説明書、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書の内容を守らなかったために発生した不具合については、保証期間内であっても無料修理の対象外となります。

目的にあわせてすばやく探す

ご使用の流れ

安全で快適にお使いいただくために

詳しくはそれぞれの説明ページをお読みください。

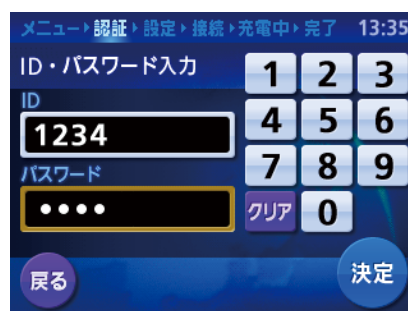
1 準備する 13ページ

画面表示を見て使用可能かどうかを確認します。
「充電ボックス」（使用可能）ボタンにふれます。

メモ

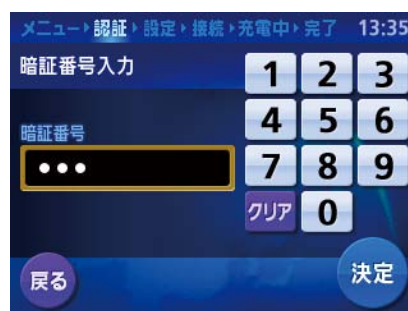
- タッチパネル画面を保護するためにスクリーンセーバーもしくは黒い画面になっています。タッチパネル画面に指でふれると、トップメニュー画面が表示されます。

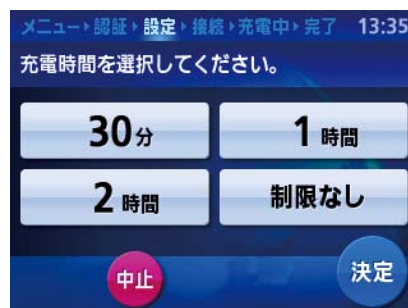
▼

認証を行います。
（ICカード、ID・パスワードまたは暗証番号）

●ICカードの場合

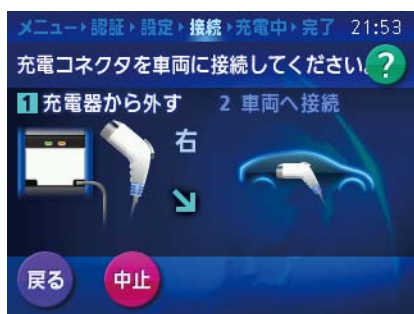
●ID・パスワードの場合

●暗証番号の場合

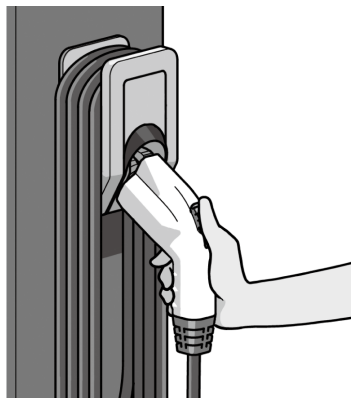
▼

充電時間を設定します。

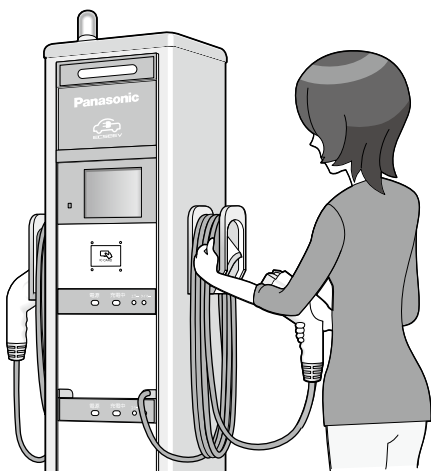
メモ

- 充電時間設定（☞33ページ）で「選択しない」を設定している場合は、画面は表示されません。

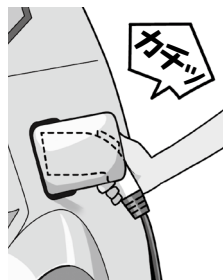
2 接続する 16ページ

充電コネクタ接続画面が表示されます。

▼

充電コネクタを取り外します。

▼

巻き付けてある充電ケーブルを取り外します。

▼

充電コネクタを車両の給電口に差し込みます。「カチッ」と音がして、ロックがかかったことを確認します。

▼

自動的に充電開始画面が表示され、充電中LEDが点灯します。

メモ

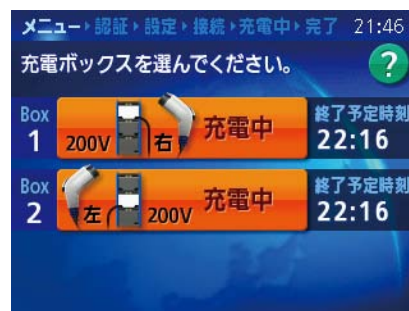
● 車種によって、充電コネクタを給電口に差し込んでも、自動的に充電を開始しない場合があります。給電口に差し込んだ後に、「開始」ボタンにふれてください。

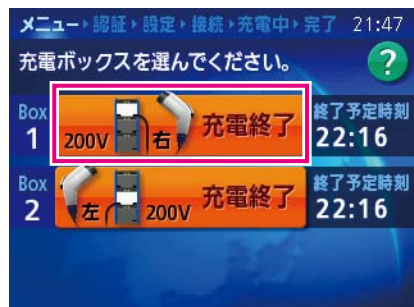
3 充電中 21ページ

トップメニューで充電状況（充電中か充電終了）、終了予定時刻を表示しています。

メモ

● 充電時間選択画面（☞33ページ）で「制限なし」を選択した場合は、終了予定時刻は表示されません。

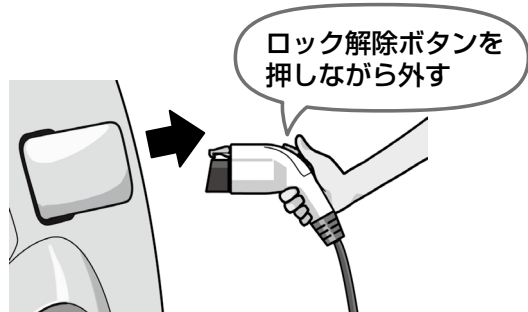
4 片付ける　22ページ

使用していた「充電ボックス」（充電終了）ボタンにふれます。

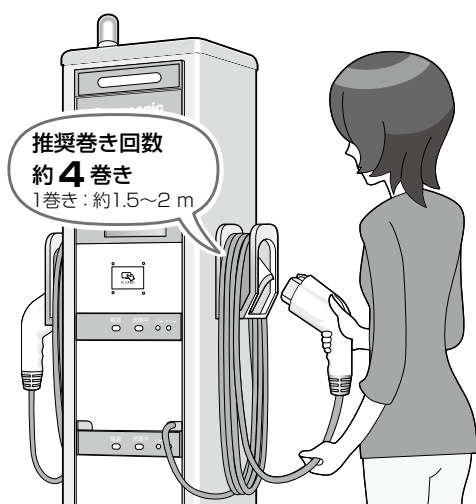
▼

認証を行います。

▼

次の画面が表示されます。

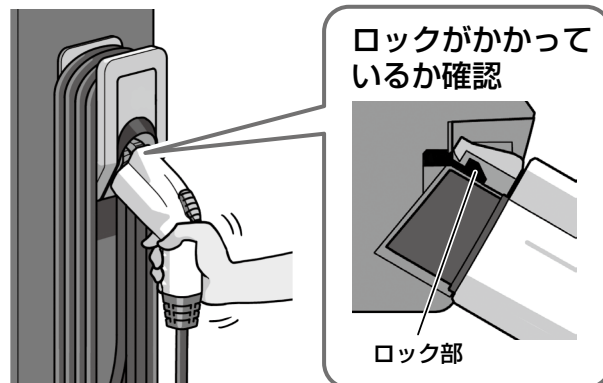
充電コネクタを給電口から取り外します。

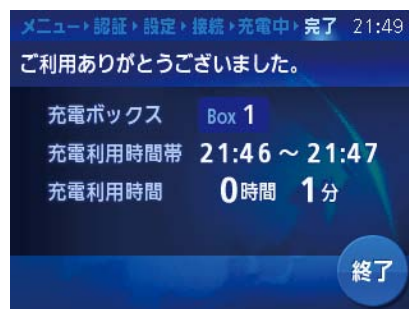
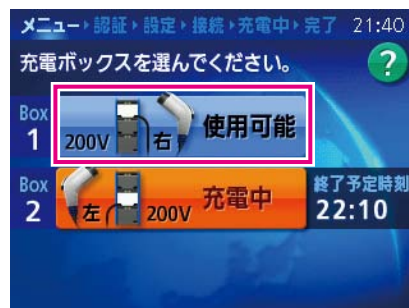
▼

充電ケーブルを充電コネクタホルダに巻き付けます。

重要

- 必ず元どおりの充電コネクタホルダに戻してください。左右逆に戻さないでください。

▼

充電コネクタを充電コネクタホルダに戻します。
「カチッ」と音がしてロックがかかっていることを確認します。

▼

充電完了画面を確認します。
「終了」ボタンにふれます。

▼

使用していた「充電ボックス」が使用可能の表示になっていることを確認します。

故障かな？ 45ページ

- タッチパネル画面にエラーメッセージが表示されている。
- 電源LEDが点灯しない
- エラー LEDが点灯している。

もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

禁止

- **ぬれた手で充電コネクタを触らない**
  感電の原因になります。
- **充電コネクタを水につけない**
  感電の原因になります。
- **製品に水をかけない（洗車時、清掃時等）**
  感電の原因になります。
- **充電コネクタホルダに充電ケーブルを巻き付けたまま充電しない**
  発熱、火災の原因になります。
- **充電中以外は車両に充電コネクタを差し込んだまま放置しない**
  感電の原因になります。
- **幼児や子供には触らせない**
  感電、けがの原因になります。
- **分解・改造をしない**
  感電、火災の原因になります。
- **可燃性ガスや引火物の近くで使用しない**
  火災の原因になります。
- **製品を布や布団、服などで覆わない**
  火災の原因になります。
- **電気自動車およびプラグインハイブリッド車の充電用途以外で使用しない**
  感電、やけど、火災の原因になります。

禁止

- **定格容量（充電ユニットあたりAC200 V/20 A）を超えて使用しない**
  感電、やけど、火災の原因になります。
- **製品に有機溶剤（ベンジンなど）や家庭用洗剤などをかけて清掃しない**
  感電、火災の原因になります。
- **漏電ブレーカやスイッチの確認・操作をする場合は、電極部に触れない**
  感電の原因になります。
- **販売店または保守契約店以外は、取付・交換作業を行なわない**
  感電、けが、火災の原因になります。

AF-XC300W1、AF-XC330C1
AF-XC330W1　の場合

- **高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器は、本装置の近くで使用しない**
  電子機器が誤作動するなどの影響を与える場合があります。

  ※ご注意いただきたい電子機器の例
  補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医療機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

⚠ 警告

必ず守る

- 充電コネクタや充電ケーブルに割れ・欠けなどが発生した場合は、漏電ブレーカを「切」にして、直ちに使用を中止する

  感電、火災の原因になります。

  販売店または保守契約店までご連絡ください。
- 異常が発生した場合は、漏電ブレーカを「切」にして、直ちに使用を中止する

  感電、火災の原因になります。

  販売店または保守契約店までご連絡ください。
- 雨の日に使用する場合は、充電コネクタの電極部に水がかからないように使用する

  感電の原因になります。
- 充電ケーブルに付着した雨水などが凍結している場合は、40 ℃程度のお湯で解凍してから使用する

  火災・感電の原因になります。

必ず守る

- 充電コネクタは確実に車両の給電口の奥まで差し込む

  発熱・火災の原因になります。
- 点検の結果、異常や不具合が確認された場合は、漏電ブレーカを「切」にして、直ちに使用を中止する

  感電、けが、火災の原因になります。

  販売店または保守契約店までご連絡ください。

AF-XC300W1、AF-XC330C1
AF-XC330W1　の場合

- 本装置のアンテナから心臓ペースメーカの装着部位を22 cm以上離す

  電波により心臓ペースメーカの作動に影響を与える場合があります。

⚠ 注意

禁止

- 製品の上に乗ったり、もたれかからない

  けがの原因になることがあります。
- 充電コネクタや充電ケーブルを振り回さない

  けがの原因になることがあります。
- 充電コネクタや充電ケーブルに、落下や踏みつけなどの強い衝撃を与えない

  感電、けがの原因になることがあります。
- 充電コネクタや充電ケーブルを、人や車両などで踏みつけない

  感電、けがの原因になることがあります。
- 充電コネクタを抜くときは、強引に引っ張らない

  感電、けがの原因になることがあります。
- 充電ケーブルにぶら下がったり､引っ張ったりしない

  感電、けがの原因になることがあります。

禁止

- 夏場など直射日光が強い場所で使用する場合は、金属表面に触れない

  やけど、けがの原因になることがあります。

必ず守る

- 充電終了後、充電コネクタは必ず充電コネクタホルダに戻す

  感電、けがの原因になることがあります。
- 使用を終了した製品は、倒壊防止のため放置せずに撤去する

  けがの原因になることがあります。

使用上のお願い

本製品のご使用にあたって

- 本製品は日本国内専用です。国外では使用しないでください。
- 万一、本書および施工説明書に従わず使用された場合の事故や故障などについては、責任を負いかねます。

■充電コネクタと充電ケーブルの取り扱いについて

- 充電コネクタは、ロック解除ボタンを押してから抜いてください。
- 充電ケーブルは、地面に触れないように巻き付けてください。
- 充電ケーブルは、推奨巻き回数になるように巻き付けてください （約4巻き 1巻き：約1.5 m ～ 2 m）。

■保守・点検について

- 日常点検と定期点検を必ず行ってください。「お手入れと点検」（☞41ページ）をご確認ください。
- 積雪時は適切に除雪してください。
- 冠水した場合、冠水したユニット、部品などを交換してください。
- 長期間使用しないときは、節電のため漏電ブレーカを「切」にしてください。
- 動物などの排泄物が付着することが考えられるなどの場合は、点検頻度を短くし、安全確認を行ってください。
- 地際部には植栽などの土がかからないように管理してください。
  さびなどの腐食が促進され、製品倒壊の原因となります。
- 製品にさびが発生した場合、必ず早期に補修してください。
- 絶縁抵抗計（メガー）を使用しないでください。
  絶縁抵抗を計測する場合は、販売店または保守契約店へご依頼ください。
  ～販売店様または保守契約店様へ～
  極間に電子部品が接続されており、製品が破損する原因となりますので、極間では使用しないでください。

■AF-XC300W1、AF-XC330C1、AF-XC330W1でFOMAを使用する場合

- 本製品をFOMA網を経由しサーバーと接続するためには、「FOMAサービス」のご契約が必要になります。
- 本製品は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中など電波の届かないところ、屋外でも電波の弱いところおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。
- 本製品は電波を利用している関係上、第三者により通信を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、FOMAの通信方式はすべての通信について秘匿処理をしていますので、第三者が傍受したとしても、意味が不明なデータとなります。
- 本製品の誤動作、不具合、あるいは停電時などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 磁気カードなどを本製品のアンテナ部に近づけないでください。
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 通信モジュール保護のため、電源を落とす際は必ずシャットダウンを行ってください。（☞29ページ）

■AF-XC300W1、AF-XC330W1、AF-XC330R1で使用できるICカードについて

- FeliCa規格に準拠したICカードをお使いください。ただし、すべてのメーカーのICカードの動作を保証するものではありません。

■AF-XC300W1、AF-XC330W1、AF-XC330R1に内蔵しているICカードリーダについて

- 本装置に内蔵しているICカードリーダは、総務省指定第HC-11005号の型式指定を受けた総務省令第96号等で定義される「誘導式読み書き通信設備」です。本装置を許可無く改造することは電波法令に違反する場合がありますのでご注意ください。（違法改造したものを使用すると、電波法により罰せられることがあります。）

■使用電力量について

本製品では、充電時間からおおよその値として概算電力量を算出しております。実際の使用量とは異なりますのでご注意ください。概算電力量は、同梱の管理ユーティリティソフトウェアで確認できます。

端末機器技術基準適合認定および特定無線設備の技術基準適合証明等

（AF-XC300W1、AF-XC330C1、AF-XC330W1の場合）

（1）端末機器技術基準適合認定

本製品には、電気通信事業法第56条第2項の規定に基づく端末機器の設計について認定を受けた以下の設備が組み込まれております。

●機器名称：FOMA UM02-KO、認証番号：A08-0420001

（2）特定無線設備の技術基準適合証明等

本製品には、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則第2条第1項第11号の3に規定される以下の設備が組み込まれております。

●機器名称：FOMA UM02-KO、工事設計認証番号：001XYAA1511

登録商標・商標について

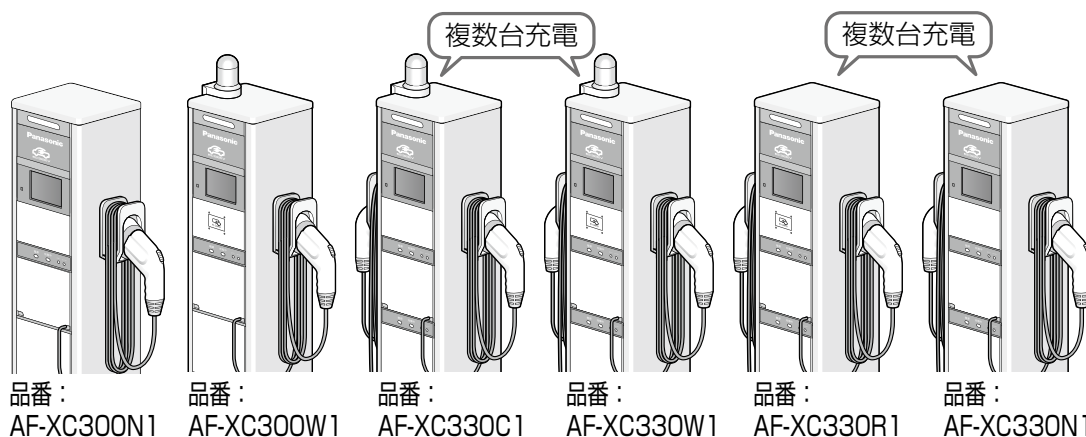
●FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
●FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
●「FOMA」、「FOMAユビキタスモジュール」、「FOMA」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
●その他、本書に記載している会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品には、以下のソフトウェアが含まれております。

①パナソニックSSインフラシステム株式会社によって開発されたもの
②GNU General Public License, Version 2（GPL v2）の下でライセンスされているもの
③GNU LESSER General Public License（LGPL）の下でライセンスされているもの
④GPL、LGPLの下でライセンスされている以外のオープンソースソフトウェア

②〜④のオープンソースソフトウェア（OSS）に関して、製品で利用しているOSSに適用されるGPL条件および当該OSSの著作権表示については、製品同梱のCDに格納されたソースコードを参照ください。

各部の名前

充電スタンド本体

FOMAアンテナ
位置表示灯（青）
位置表示ユニット
タッチパネル画面
通信ユニット
充電コネクタホルダ
ICカードリーダ
電源LED（緑）
充電中LED（赤）
充電コネクタ
充電ユニット
充電ケーブル
タイマーLED（赤）
エラーLED（橙）
品番・製造番号表示ラベル
取付ベース
（地際部）

《正面》

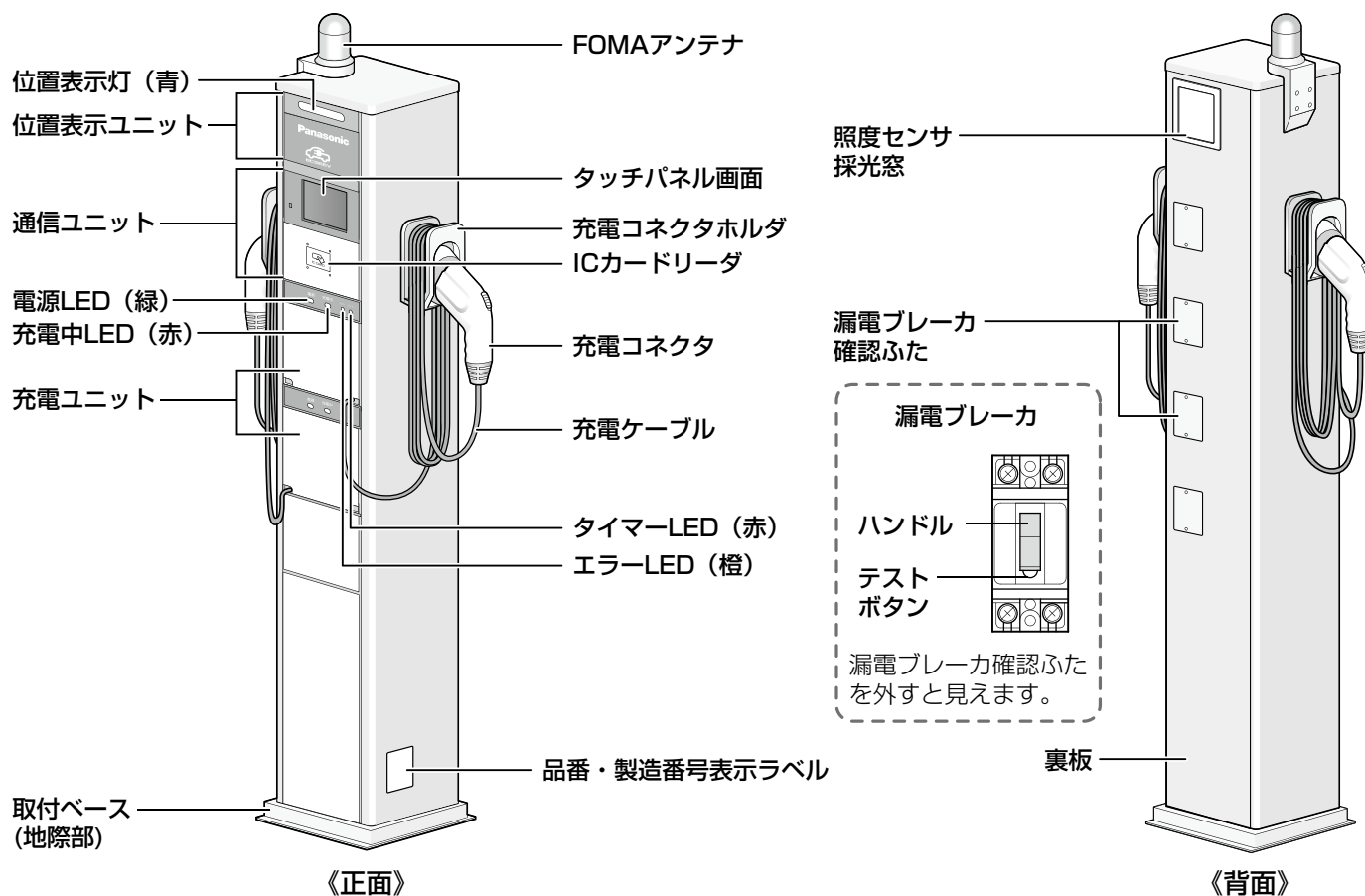
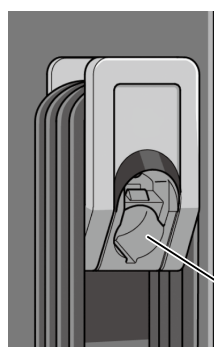
照度センサ
採光窓
漏電ブレーカ
確認ふた

漏電ブレーカ

ハンドル
テスト
ボタン

漏電ブレーカ確認ふた
を外すと見えます。

裏板

《背面》

充電コネクタホルダ

LEDの状態表示

ご使用前に通電確認のため電源LED（緑）が点灯していることを確認してください。
その他のLED 表示は以下のとおりです。正常な状態でない場合は「故障かな？」(☞45〜47ページ) をご参照ください。

位置表示灯(青)

周囲が暗くなると自動的に点灯し、明るくなると消灯します。

メモ

- 点灯時および消灯時の周囲照度は立地環境の影響を受けバラツキが生じます。
- 充電スタンド背面には、照度センサ採光窓があります。充電スタンド本体の背面が日陰などの暗くなる場所に設置すると、周囲が明るいときでも位置表示灯が点灯する場合があります。

電源LED(緑)

充電ユニットに電源が供給されている時に点灯します。
電源LEDが消灯している場合は、ご使用できません。

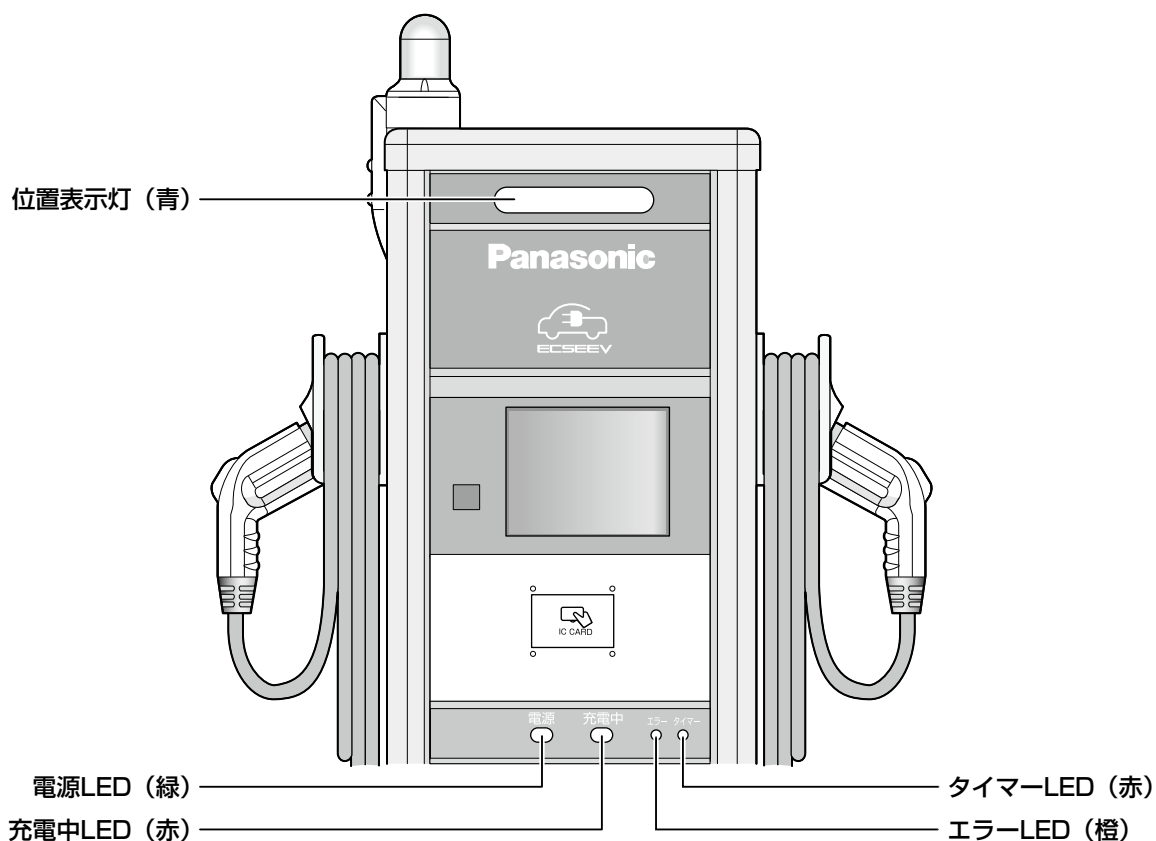
充電中LED(赤)

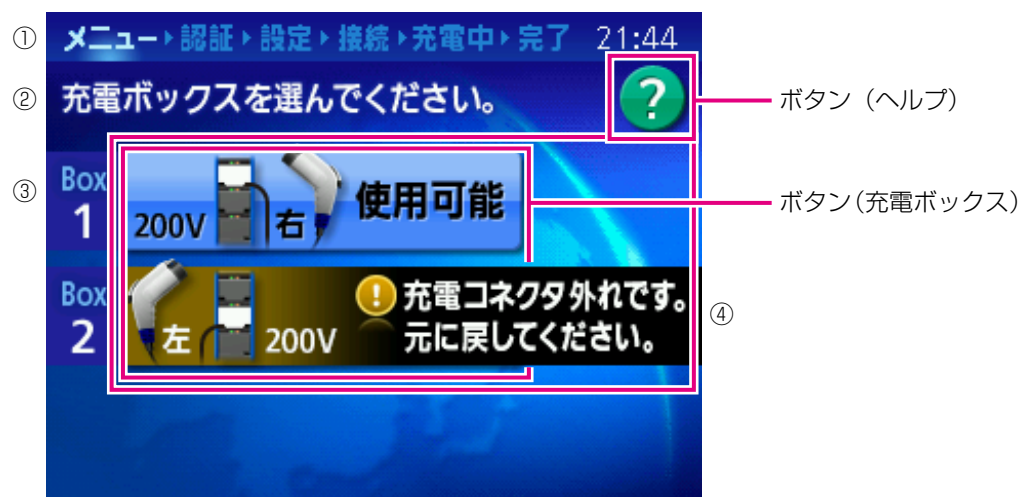
充電中に点灯します。
異常発生時には、点滅します。(☞48、49ページ)
充電していない時や、異常発生していない時は、消灯します。

エラーLED(橙)

異常発生時に点灯します。(☞48、49ページ)
正常に動作している時は、消灯します。

タイマーLED(赤)

充電中はタイマー LED（赤）が点灯します。
充電終了までの残り時間が10分以下になると点滅します。(☞21ページ)
充電していないときや、充電時間選択画面（☞17ページ）で「制限なし」を選択した場合は、消灯します。

タッチパネル画面について

通常、タッチパネル画面を保護するためにスクリーンセーバーもしくは黒い画面になっています。タッチパネル画面に指でふれると、以下のトップメニュー画面が表示されます。

①メニュー部
メニュー（充電ボックス選択）から充電完了までの手順を表示します。操作の進行に合わせてメニュー名が点灯します。

②メッセージ表示部
操作手順の説明が表示されます。

③操作部
操作のためのボタンが表示されます。
例：「ヘルプ」ボタン、「充電ボックス」ボタン

操作はタッチパネル画面のボタンを指でふれて行います。
操作中に数字を入力する場合は、タッチパネル画面に表示される数字ボタンにふれてください。
入力事項が正しければ、［決定］ボタンにふれてください。
操作をやり直す場合は［戻る］ボタンを、操作を中止する場合は［中止］ボタンにふれてください。

④操作エラーメッセージ表示部
充電コネクタ外れなどの操作エラーメッセージを表示します。

重要
- タッチパネル画面のボタンは、指でふれて、軽く押して操作してください。爪、ボールペンなど先がとがったものや硬いものでは操作しないでください。
- 各画面に表示されるメッセージに従い、ボタンを選択し、確実に操作してください。

充電方法 ❶

準備する

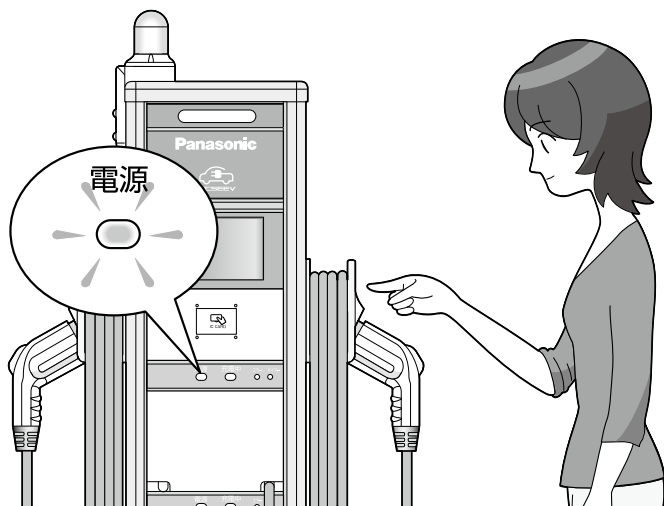
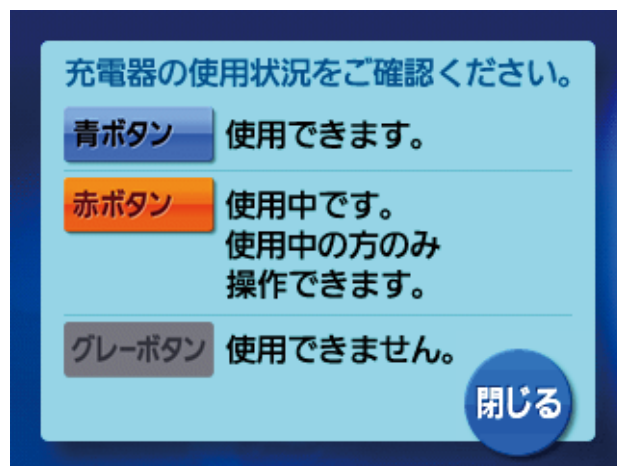
LED表示で通電を確認する

電源LED（緑）が点灯していることを確認します。

2 使用する充電ボックスを選択する

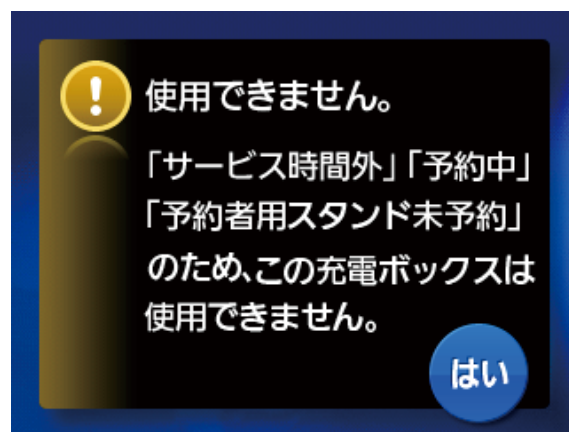
トップメニュー画面を見て使用可能かどうかを確認します。

①［充電ボックス］ボタン
充電ボックスの使用状況を表示します。使用可能となっている［充電ボックス］ボタンにふれます。
　状況：使用可能／充電中／充電終了／使用不可

②終了予定時刻
充電中の場合、その終了予定時刻を表示します。

③ヘルプ［?］ボタン
ヘルプ画面に切り換ります。

充電ボックスの使用状況を、色別で確認できます。［閉じる］ボタンでトップメニュー画面に戻ります。

メモ

- 選択した充電ボックスが、「サービス時間外」、「予約中」、または「予約者用スタンド未予約」により使用ができない場合に、失敗音が鳴り、「使用できません」画面が表示されます。
  表示内容を確認し、［はい］ボタンにふれ、トップメニュー画面に戻ります。

充電方法 ❷

3 認証する

1）認証の操作

メモ
●認証方法は「ICカード」、「ID・パスワード」または、「暗証番号」のいずれかひとつの設定になります。該当する認証方法を確認の上、操作手順をお読みください。

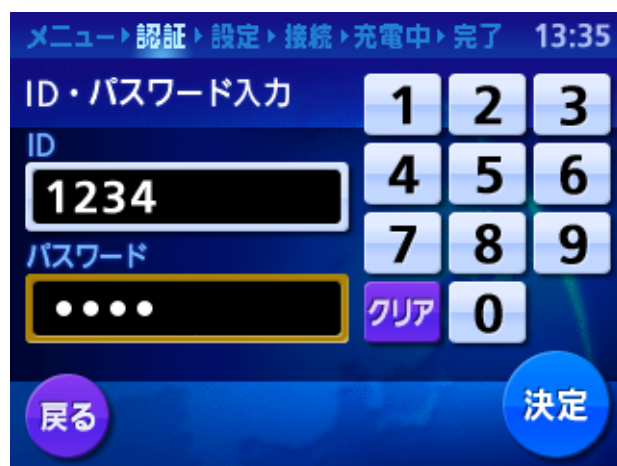
●ICカードの場合

STEP1
ICカードのタッチを促す画面が表示されます。

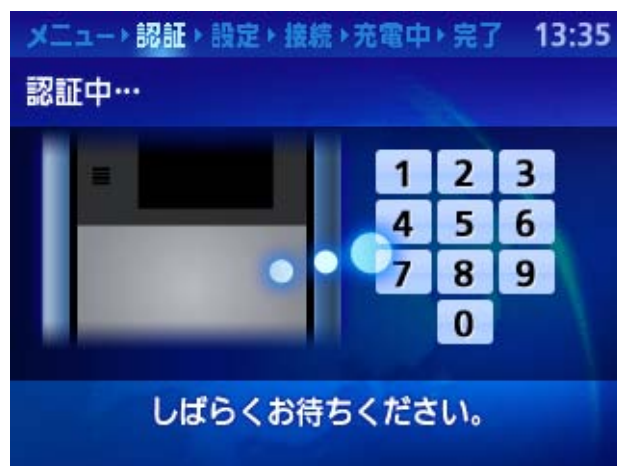
STEP2
ICカードをタッチパネル画面の下にある［ICカードリーダ］にかざします。
→「認証中…」の画面が表示されます。認証完了までお待ちください。

STEP3
認証に成功すると、充電時間の選択画面が表示されます。「接続する」（☞16ページ）へ進んでください。

●ID・パスワードの場合

STEP1
「ID・パスワード」入力欄と数字ボタンの画面が表示されます。

STEP2
ID入力欄にIDを入力します。続けてパスワード入力欄をタッチし、パスワードを入力します。
［戻る］ボタンにふれると、トップメニュー画面に戻ります。

メモ
●入力桁数はID、パスワードともに４桁固定です。４桁を超えると失敗音が鳴り、入力した値は無効となります。

STEP3
［決定］ボタンにふれます。
→「認証中…」の画面が表示されます。認証完了までお待ちください。

STEP4

認証に成功すると、充電時間の選択画面が表示されます。「接続する」（☞16ページ）へ進んでください。

●暗証番号の場合

STEP1

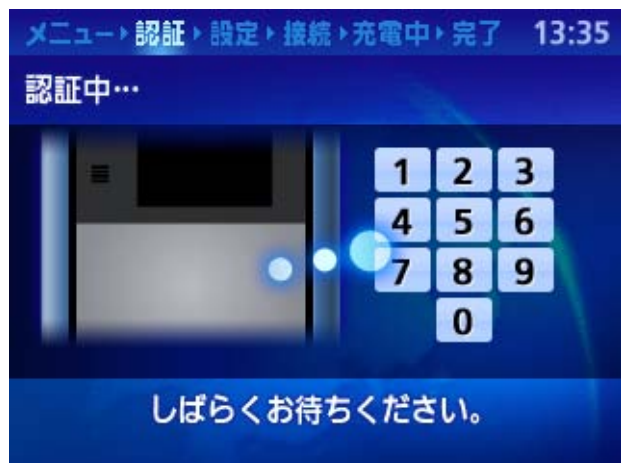
「暗証番号入力」画面が表示されます。

STEP2

暗証番号入力欄に暗証番号を入力します。
［戻る］ボタンにふれると、トップメニュー画面に戻ります。

メモ
- 入力桁数は３桁固定です。3桁を超えると失敗音が鳴り、入力した値は無効となります。

STEP3

［決定］ボタンにふれます。
→「認証中…」の画面が表示されます。認証完了までお待ちください。

STEP4

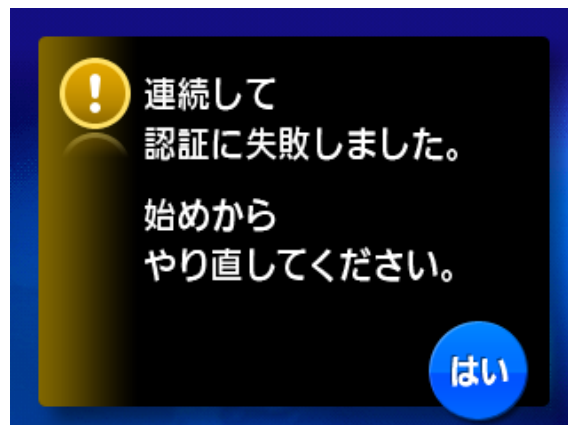
認証に成功すると、充電時間の選択画面が表示されます。「接続する」（☞16ページ）へ進んでください。

2）認証失敗の場合

メモ
- 認証に失敗すると、失敗音が鳴り「認証失敗」画面が表示されます。

数秒後に認証画面に戻ります。あらかじめ登録してあるICカード、ID・パスワードまたは暗証番号を確認し、再度、同じ手順で認証を行ってください。

3）認証連続失敗の場合

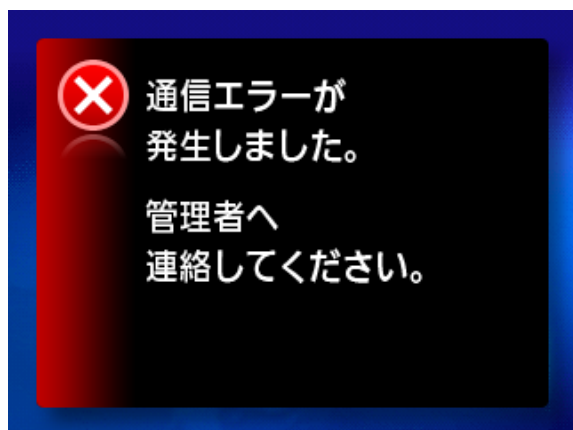
メモ
- 認証に連続して失敗すると、失敗音が鳴り「連続失敗」画面が表示されます。［はい］ボタンにふれると、トップメニュー画面に戻ります。始めからやり直してください。

充電方法 ③

4）通信エラーによる認証失敗の場合

メモ

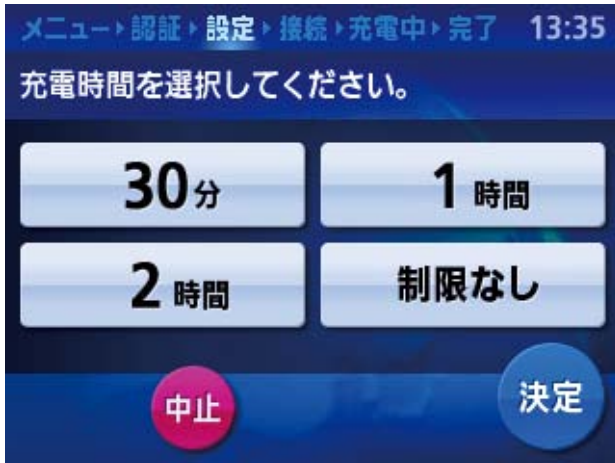
- 認証時に通信エラーが発生し、認証に失敗した場合は、「通信エラー」画面が表示されます。エラーの状況により数秒～ 3分程度かかりますが、認証画面に戻ります。再度認証を行ってください。

- 次の「通信エラー」画面が表示された場合は、管理者に連絡してください。

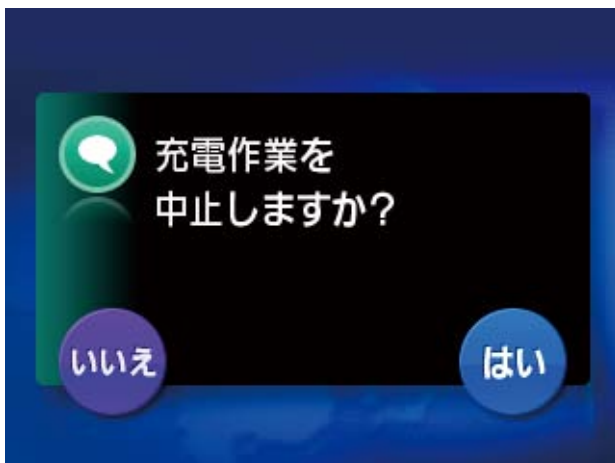
準備する／接続する

接続する

重要

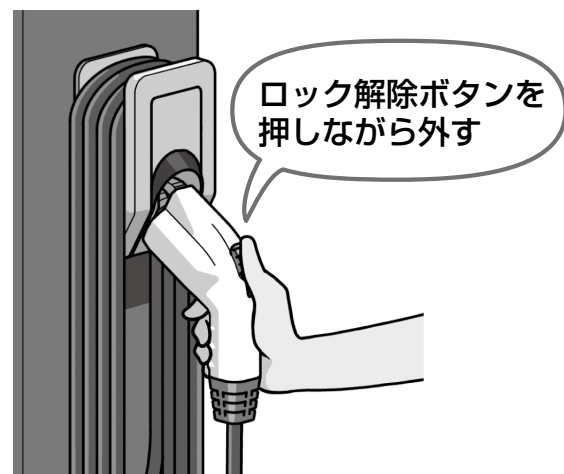
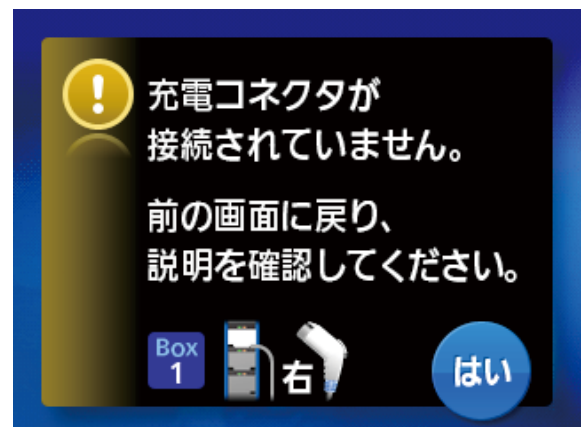
- 車両側の充電開始・終了作業については、車両側の取扱説明書に従って作業してください。
- 充電電流設定が10 A未満の場合、一部車種に限り充電が開始できないことがあります。車両側の取扱説明書または車両販売店にご確認ください。
- エラー LED（橙）が点灯している場合、エラー画面が表示されている場合は、販売店または保守契約店までご連絡ください。

1 充電時間を選択する

画面に表示された4つの充電時間から、1つを選び充電時間のボタンにふれます。［決定］ボタンにふれます。
→「充電コネクタ接続」画面が表示されます。

メモ
●充電時間設定（☞33ページ）で「選択しない」を設定している場合は、充電時間の選択画面は表示されません。
手順2へ進んでください。

充電時間の選択を中止する場合は、［中止］ボタンにふれてください。

中止確認画面が表示されます。［はい］［いいえ］ボタンのどちらかにふれます。［はい］ボタンにふれた場合は、トップメニュー画面に戻ります。［いいえ］ボタンにふれた場合は、充電時間の選択画面に戻ります。

2 充電コネクタを取り外す

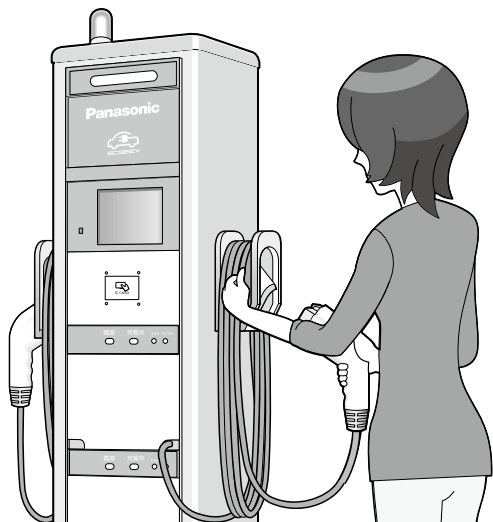
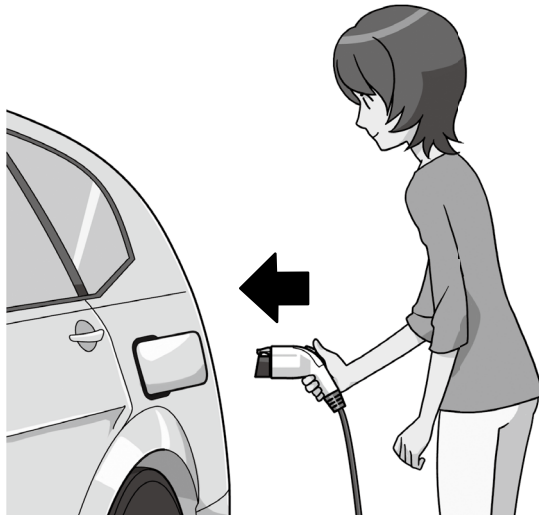
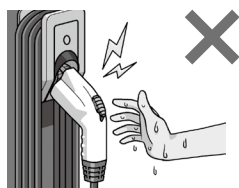
充電コネクタ接続画面が表示されます。

メモ
●充電コネクタを充電コネクタホルダから外していないと、次の画面が表示されます。

［はい］ボタンにふれて、充電コネクタ接続画面に戻ってください。

接続する

充電方法 ❹

3 巻き付けてある充電ケーブルを取り外す

⚠警告

禁止

●ぬれた手で充電コネクタを触らない

感電の原因となります。

必ず守る

●雨の日に使用する場合は、充電コネクタの電極部に水がかからないように使用する

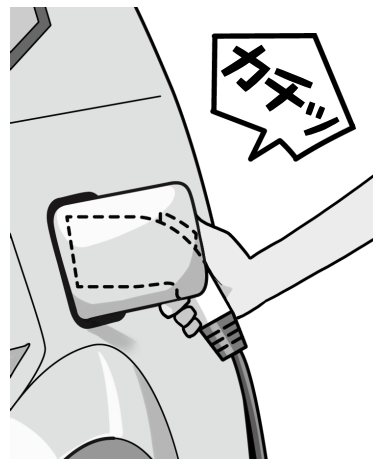
感電の原因となります。

電極部

●充電ケーブルに付着した雨水などが凍結している場合は、40 ℃程度のお湯で解凍してから使用する

火災・感電の原因となります。

4 充電コネクタを車両の給電口に差し込む

5 「カチッ」と音がして、ロックがかかったことを確認する

⚠警告

必ず守る

●充電コネクタは確実に奥まで差し込む

発熱・火災の原因となります。

充電するときは以下のことに注意してください。

⚠警告

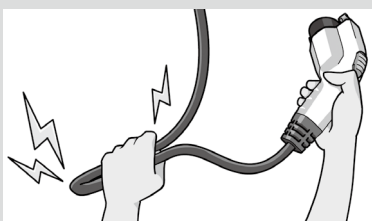
禁止

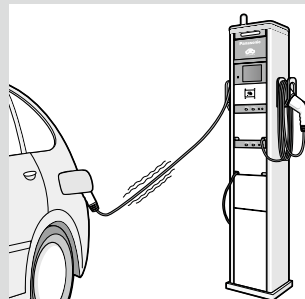
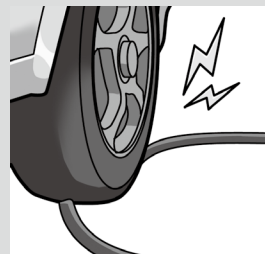
● **充電コネクタホルダに充電ケーブルを巻き付けたまま充電しない**

発熱・火災の原因となります。

重要

●充電コネクタや充電ケーブルに落下や踏みつけなどの強い衝撃を与えないようにする。

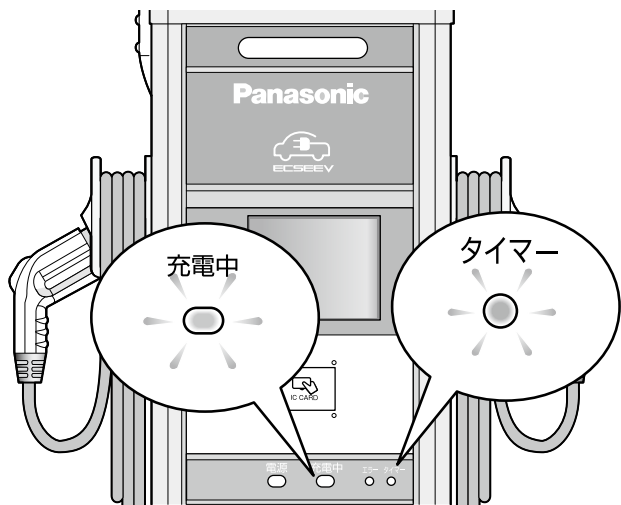
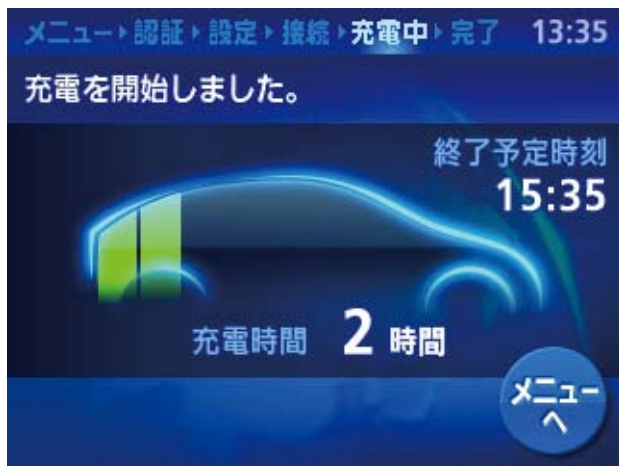
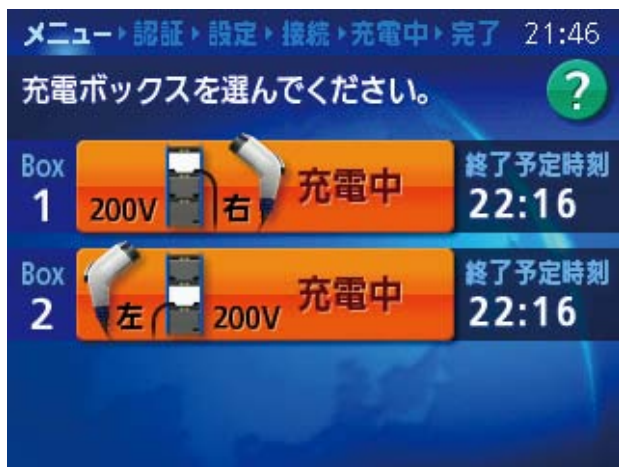
●充電ケーブルは無理に曲げないようにする。
充電コネクタや充電ケーブルを振り回さない。

●充電ケーブルで足を引っかけないように注意する。

●充電ケーブルは十分な余裕を持たせた状態で接続する。

●充電コネクタや充電ケーブルは、人や車両などで踏まれないようにする

6 充電を開始

充電コネクタを車両の給電口に差し込むと、自動的に充電を開始します。
充電中LED（赤）とタイマーLED（赤）が点灯します。

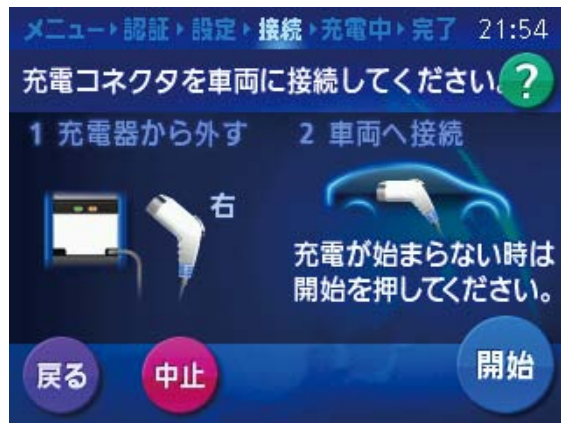
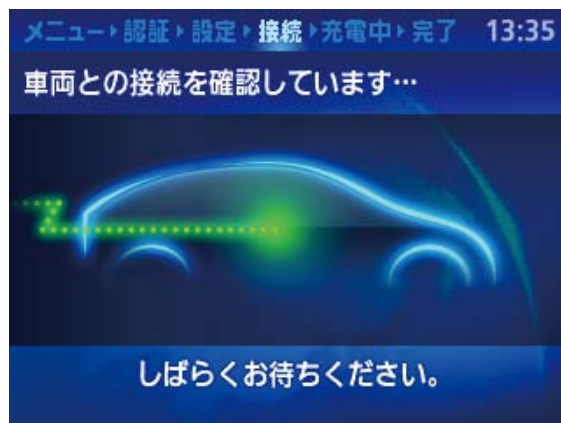
メモ

●充電時間選択画面（☞17ページ）で「制限なし」を選択した場合は、タイマーLEDは点灯しません。

充電方法 5

充電開始画面が表示されます。

終了予定時刻、充電時間が表示されます。
［メニュー］ボタンにふれて、トップメニュー画面に戻ります。

選択した充電ボックスが充電中になっていることを確認します。

メモ

- 車種によって、充電コネクタを給電口に差し込んでも自動的に充電を開始しない場合があります。

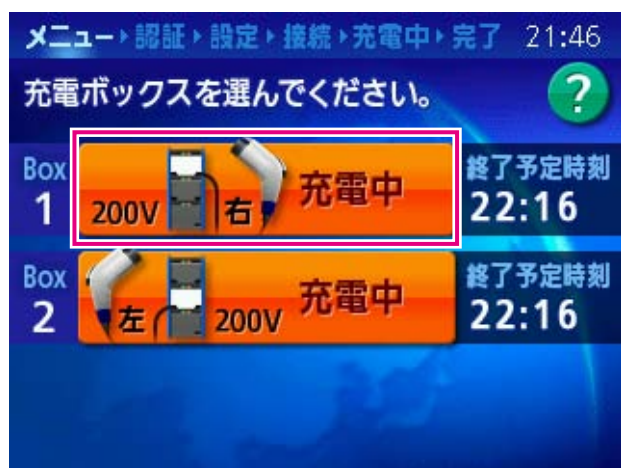
この場合は、給電口に差し込んだ後に、次の操作を行ってください。
充電コネクタ接続画面で［開始］ボタンにふれます。

車両との接続を確認する画面に切り換ります。この画面はしばらく表示されます。

接続が確認できると、充電を開始します。充電開始画面が表示されますので、左記と同じ操作を行ってください。

接続の検出ができなかった場合、次の画面が表示されます。

［戻る］ボタンにふれて、接続を始めからやり直すか、［中止］ボタンにふれてトップメニュー画面に戻ってください。

充電中

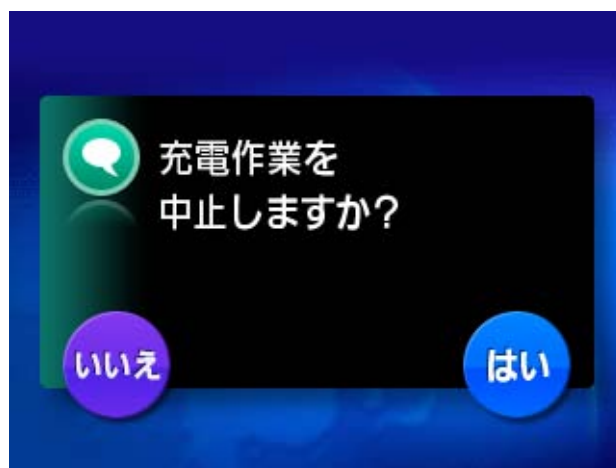
1 充電中の確認

通常、タッチパネル画面を保護するためにスクリーンセーバーが起動しています。画面に指でふれると、トップメニュー画面が表示されます。

使っている［充電ボックス］（充電中）ボタンにふれます。
認証画面が表示されます。
「準備する　3　認証する」（☞14ページ）と同じ手順で認証を行ってください。

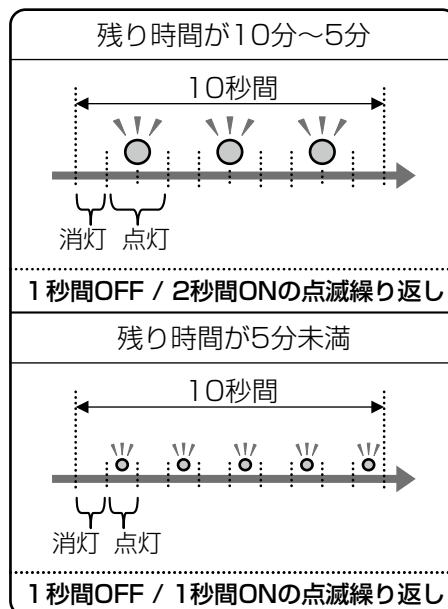
メモ
- 終了時刻を過ぎると「充電終了」になります。
また終了時刻前でも満充電になると「充電終了」になります。
- 車種によっては、満充電になっても充電終了にならないことがあります。「中止」ボタンにふれ、充電を中止してください。

認証されると充電中画面が表示されます。

メモ
- 画面のインジケータの位置は、充電の割合を表すものではありません。

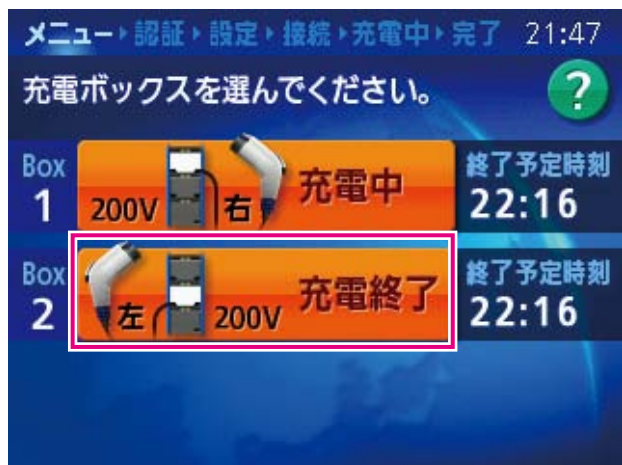
［メニュー］ボタンにふれてトップメニュー画面に戻ります。
充電を途中で中止する場合は、画面左下の［中止］ボタンにふれると、中止確認画面が表示されます。

［はい］にふれると、充電を中止してトップ画面に戻ります。［いいえ］にふれると、充電中の画面に戻ります。

2 充電残り時間　10分以下

充電終了までの残り時間が10分以下になるとタイマーLED（赤）が点滅します。

充電方法 6

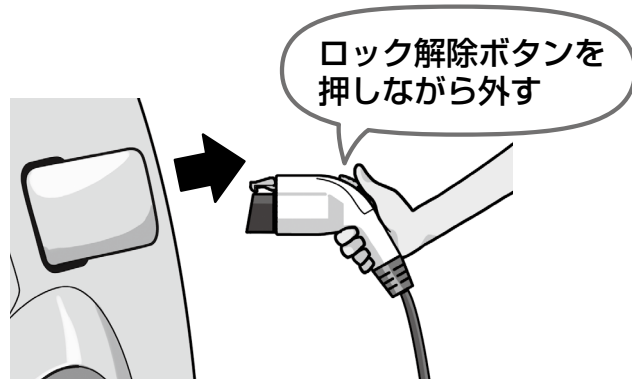
片付ける

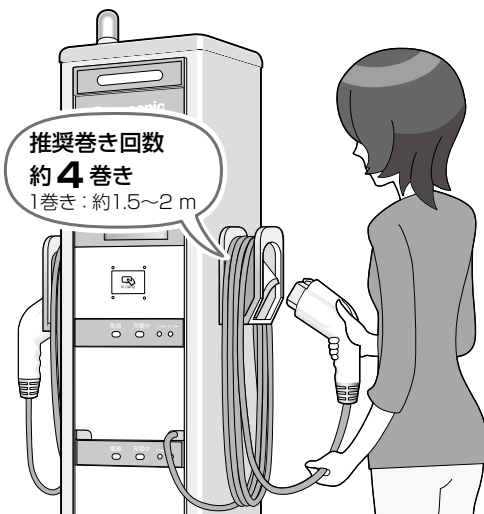
1 充電終了の確認

通常、タッチパネル画面を保護するためにスクリーンセーバーが起動しています。画面に指でふれると、トップメニュー画面が表示されます。

使っている［充電ボックス］（充電終了）ボタンにふれます。
認証画面が表示されます。
「準備する 3 認証する」（☞14ページ）と同じ手順で認証を行ってください。

2 充電コネクタを車両から取り外す

次の画面が表示されます。

ロック解除ボタンを押しながら、給電口から充電コネクタを取り外します。

3 充電ケーブルを充電コネクタホルダに巻き付ける

約4巻き（1巻き1.5 ～ 2 m程度）で充電コネクタを充電コネクタホルダに巻き付けてください。

重要

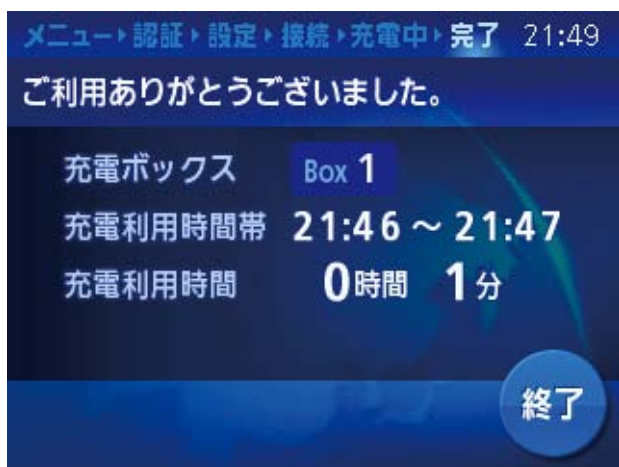
- 充電ケーブルは、地面に触れないように巻き付ける。
  足の引っ掛けや充電ケーブルが傷つく原因となります。
- 充電ケーブルは、推奨巻き回数になるように巻き付ける。
  （約4巻き　1巻き：約1.5 m ～ 2 m）
  推奨巻き回数を超えて巻き付けると、充電ケーブルが屈曲して、被覆が破れたり断線するおそれがあります。
  感電・発火の原因となります。

4 充電コネクタを充電コネクタホルダに戻す

「カチッ」と音がして、充電コネクタがロックされたことを確認します。

重要
- 必ず元どおりの充電コネクタホルダに戻してください。左右逆に戻さないでください。
- 充電コネクタを手前に引いてもロックがかかり落ちないことを確認してください。

5 完了画面を確認する

充電コネクタを充電コネクタホルダに戻すと完了画面が表示されます。

充電利用時間帯、充電利用時間を確認し、［終了］ボタンにふれてください。
トップメニュー画面が表示されます。

メモ
- 充電利用時間は制御の関係で、選択した充電時間と多少前後する場合があります。

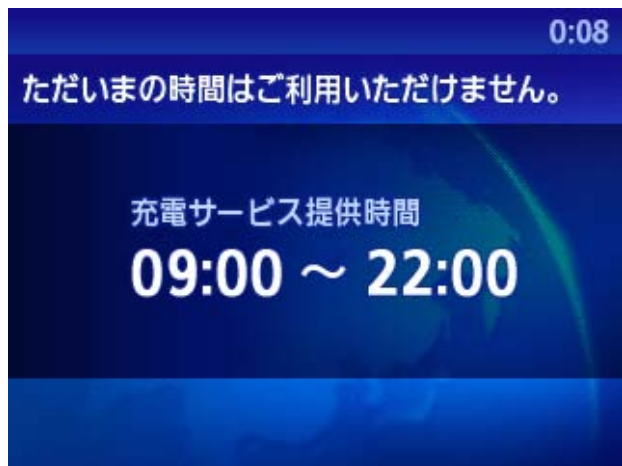
使用していた充電ボックスが使用可能になっていることを確認してください。

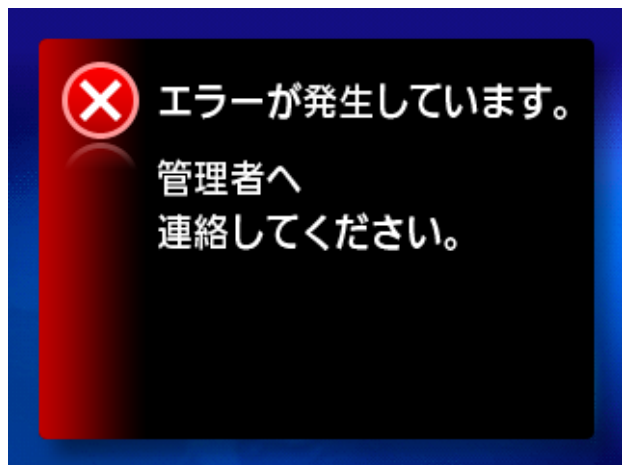
片付ける

充電方法 ⑦

画面メッセージについて

利用開始前や操作の途中で以下のメッセージが表示された場合は、内容をよく読み、指示に従ってください。

●**サービス時間外**

充電サービス提供時間外の場合に表示されます。充電サービス提供時間が表示されますので、確認してください。

●**エラー発生**

異常が発生した場合に表示されます。管理者へ連絡をしてください。
この画面が表示された場合は、画面の操作はできません。

重要
- 充電中にこの画面が表示された場合は、充電を中断してください。充電コネクタを車両から外し、充電コネクタホルダに戻してください。

充電設定の変更と保守 ❶

保守画面について

保守画面では、各種設定の変更・確認、アラーム情報の確認、バージョン情報の確認などを行うことができます。

重要
- 異常発生時の対応など緊急の場合を除き、保守操作は充電中には実施しないでください。
- 保守操作によっては、本製品の再起動が必要な場合があります。再起動を行うと充電が強制的に終了します。
- 管理者用IDとパスワードは漏えいしないように、厳重に管理してください。不正使用を防止するために、パスワードは定期的変更してください。

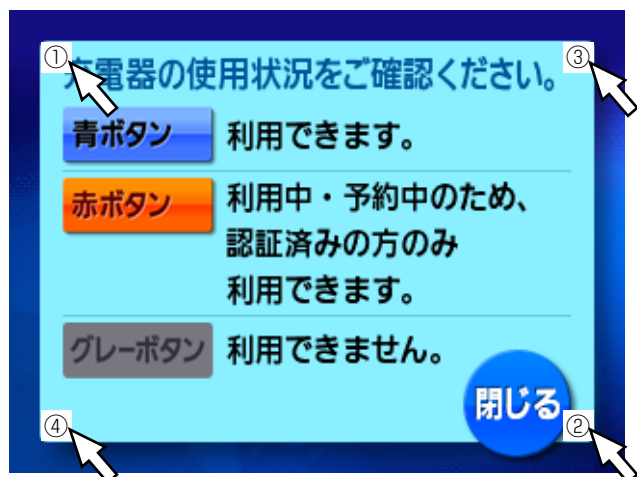
1 保守画面に切り換える

STEP1

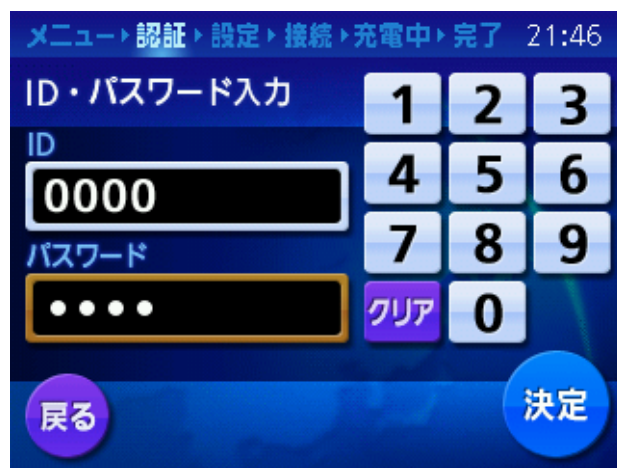
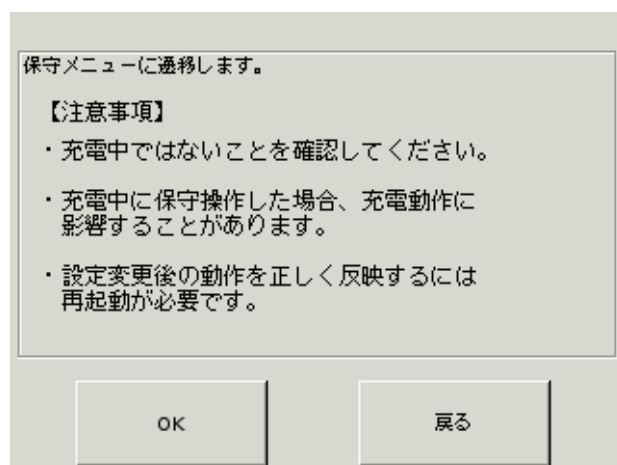
充電ボックスが「使用可能」となっており「充電中」でないことを確認します。
トップメニュー画面のヘルプ［?］ボタンにふれます。

→ヘルプ画面が表示されます。

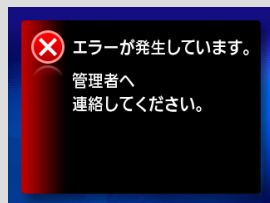
STEP2

ヘルプ画面の四隅を①左上→②右下→③右上→④左下の順にタッチします。

→パスワード認証画面が表示されます。

STEP3

管理者用IDとパスワードを入力し、「決定」ボタンにふれます。

→ログイン時警告画面が表示されます。

［OK］ボタンにふれます。
→保守メニュー一覧画面が表示されます。

重要

- 出荷時の管理者用IDとパスワードは、以下の値に設定されています。
  管理者用ID　　　　　0000
  管理者用パスワード　 1111
- 必ず「保守メニュー」→「認証情報編集」→「ユーザ保守者」（☞30ページ）で設定を変更してください。変更した値は、忘れないように記録してください。
- 以下のエラー画面からも保守画面に切り換え、再起動などの処置を行うことができます。
  STEP2と同様にエラー画面で四隅を左上→右下→右上→左下の順にタッチします。
  パスワード画面が表示されますので、STEP3と同じ操作を行います。

メモ

- 一定時間操作しない状態が続くと、自動的にトップメニュー画面に戻ります。再度保守画面に切り換えるには、STEP1 ～ 3の操作を行ってください。

2 保守メニュー画面の確認

①システムメニュー（☞27ページ）

②充電ユニット制御（☞29ページ）

③認証情報編集（☞30ページ）

④充電時間設定（☞33ページ）

⑤アラーム表示（☞34ページ）

⑥アラーム履歴（☞34ページ）

⑦ネットワーク設定（☞35ページ）

⑧バージョン表示（☞34ページ）

⑨［終了］ボタン

保守画面について

システムメニュー

1）システムメニュー画面について

システムメニューには、【設定】と【制御】があります。【制御】メニューを実行した場合は、確認メッセージが表示されますので、内容を確認の上操作を進めてください。

2）【設定】メニュー

①日時設定

充電スタンドの時刻を設定します。
設定をしたい個所にふれます。数字ボタンまたは▲▼ボタンで、数字を入力します。［設定］ボタンにふれると、設定が完了します。

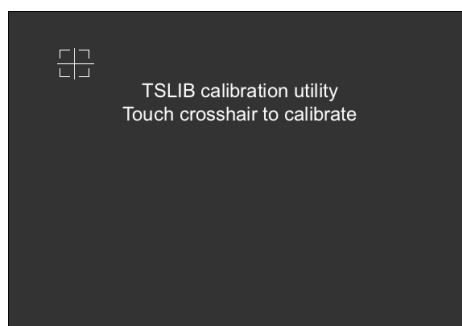
②輝度設定

画面の輝度（明るさ）は、画面中央のバーにふれ左右にスライドすることで設定します。輝度の変化は即時に反映されます。［設定］ボタンにふれると、設定が確定します。［戻る］ボタンにふれると設定は反映されませんので、ご注意ください。
設定範囲：100 ～ 255
初期値：150

③音量設定

操作音の音量は、画面中央のバーにふれ左右にスライドすることで設定します。［テスト］ボタンにふれると、変更した音量を再生し、確認することができます。［設定］ボタンにふれると設定が確定します。［戻る］ボタンにふれると設定は反映されませんので、ご注意ください。
設定範囲：0 ～ 255
初期値：255

④キャリブレーション
タッチパネル画面の座標位置を調整します。指でふれた位置とボタン位置がずれている場合に行います。
左上に＋字が表示されます。線が交わった点を指でふれます。＋が右上→右下→左下→中央と移動しますので、同じように＋字の交点を指でふれてください。位置が補正され、システムメニューに戻ります。

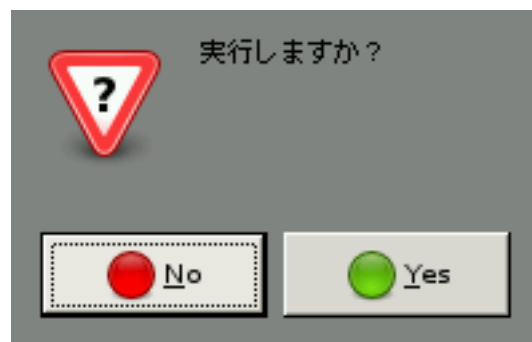
重要
- 必ず順番通りに十字の交点にふれてください。
- 間違ってキャリブレーション画面を表示させた場合でも、同じ操作を行ってください。

⑤機器状態確認
3G通信に関する状態、充電器センター通信の状態、充電ユニットの状態を確認します。
次ページがある場合は、画面右下に▼▲ボタンが表示されます。

⑥サービス提供時間設定
充電スタンドのサービス提供（利用可能）時間を、[24時間設定]、[サービス提供時間設定］いずれかで設定します。
［サービス提供時間設定］を選択した場合、サービス提供開始時間、サービス提供終了時間の設定を数字キーで行います。
開始時間と終了時間が同一の場合は、設定不可となるのでご注意ください。日をまたいだ時間設定は可能です。

［24時間設定］を選択した場合、サービス提供時間欄は空白となり、数字キー入力はできません。

3）【制御】メニュー

①再起動
充電スタンドの再起動を行います。
［再起動］ボタンにふれると、確認メッセージが表示されます。

システムメニュー

［Yes］ボタンにふれると再起動を実行します。［No］ボタンにふれると再起動を中止します。
再起動を実行すると、シャットダウン中画面になり、しばらく（2 ～ 3分後）するとトップメニュー画面が表示されます。

メモ

- 充電中に再起動を行うと、充電が中止されます。
- エラー LED（橙）が点灯中は、充電ユニットも同時に電源を再投入してください。

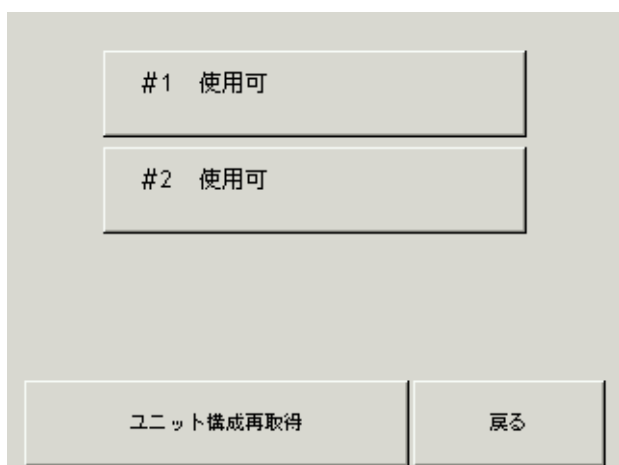
②シャットダウン

充電スタンドを停止します。
［シャットダウン］ボタンにふれると、確認メッセージが表示されます。内容を確認の上、操作を進めてください。（☞38ページ）

メモ

- 充電中にシャットダウンを行うと、充電が中止されます。

充電ユニット制御

1）充電ユニット選択画面について

充電ユニットに対する制御や漏電テストを行うことができます。

メモ

- 充電中に充電ユニット制御を行うと充電が中止されます。

［ユニット番号］ボタン

ユニット番号と、充電ユニットの状態を表示します。
　使用可／使用不可／充電中／充電終了

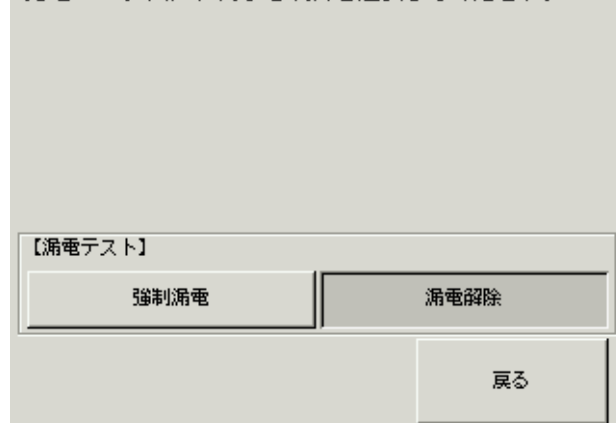
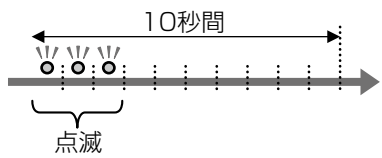
［ユニット構成再取得］ボタン

充電ユニットの台数を変更して運用する場合に、ユニット構成再取得を行います。
現在のユニット構成と状態を取得します。
確認メッセージが表示され、再起動を促します。
再取得を実施する際は、充電スタンドの再起動を伴いますので、ご注意ください。

［戻る］ボタン

保守メニュートップへ戻ります。

2）充電ユニットの選択

制御を行う［ユニット番号］ボタンにふれます。

【漏電テスト】メニュー

重要

- 半年に1回の頻度で漏電テストを行い、充電ユニットから車両間の漏電保護機能が正常に動作することを確認してください。

［強制漏電］ボタン
強制漏電テストを行います。［強制漏電］ボタンにふれると、確認メッセージが表示されます。内容を確認の上、操作を進めてください。実施すると充電中LED（赤）が点滅し、エラー LED（橙）が点灯することを確認します。

充電用LED（赤）	エラーLED（橙）
10秒間に3回点滅繰り返し	点灯

［漏電解除］ボタン
漏電状態を解除しテストを終了します。充電LEDとエラー LEDが消灯することを確認します。

認証情報の編集

1）認証情報編集画面について

認証情報に関する設定を編集することができます。

［認証情報登録変更］ボタン
認証情報を変更・追加・削除することができます。

［無認証設定］ボタン
無認証による利用を設定することができます。

［戻る］ボタン
保守メニュートップへ戻ります。

2）認証情報登録の変更

変更する対象を選択します。

［利用者］ボタン
利用者のID･パスワードまたは、暗証番号を編集します。

［ユーザー保守者］ボタン
ユーザー保守者のパスワードを編集します。

［戻る］ボタン
「認証情報編集」画面に戻ります。

ID（4桁）・パスワード（4桁）を変更する

●登録済みのパスワードを変更する場合

登録されているIDが、昇順にソートされた状態で表示されます。

STEP1

パスワードを変更するIDの行にふれ、「編集」ボタンにふれます。
→パスワード編集画面に切り換ります。

STEP2

登録されているIDが表示されます。

STEP3

変更するパスワードを数字ボタンにふれて入力します。

［1文字削除］：削除したい数字にカーソルをあて、使います。

［項目クリア］：選択している行すべての数字をクリアします。

STEP4

［登録］ボタンにふれます。
→確認メッセージが表示されます。

●IDを追加登録する場合

STEP1

▽にふれ最下段へジャンプします。最下段に表示される追加用の空白行にふれ、「追加」ボタンにふれます。

→IDとパスワード登録画面に切り換ります。

STEP2

ID入力欄にふれ、数字ボタンを使いIDを入力します。パスワード入力欄にふれ、数字ボタンを使いパスワードを入力します。

STEP3

［登録］ボタンにふれます。
→確認メッセージが表示されます。

●IDを削除する場合

削除したいIDの行にふれ、「削除」ボタンにふれます。

→確認メッセージが表示されます。

充電設定の変更と保守 5

暗証番号（3桁）を変更する

「利用者」ボタンにふれると暗証番号の場合は、「充電ユニット選択」（☞29ページ）画面が表示されます。充電ユニットを選択し、以下の手順に従って暗証番号を変更します。

メモ
- 暗証番号は、ユニットごと、曜日ごとに5種類まで設定できます。同じ値を設定することもできます。
- 出荷時は、各ユニット、各曜日とも1種類「111」が設定されています。必ず運用時の暗証番号に変更してください。

STEP1

変更する暗証番号の曜日のボタンにふれます。

編集する曜日を選択してください。

日曜日 月曜日 火曜日
水曜日 木曜日 金曜日
土曜日
戻る

STEP2

各曜日に設定されている暗証番号1 ～ 5のうち、編集したい暗証番号を選択します。

→暗証番号編集画面に切り換ります。

STEP3

新しい暗証番号を数字ボタンにふれて入力します。

［1文字削除］：削除したい数字にカーソルをあて、使います。
［項目クリア］：選択している行すべての数字をクリアします。

STEP4

［登録］ボタンにふれます。
→確認メッセージが表示されます。

メモ
- 暗証番号を削除するボタンはありません。一度登録した暗証番号を削除する場合は、削除したい暗証番号を選択し、すでに登録済みの値と同じ値を登録してください。
  例）月曜日の「1」の暗証番号が111、「2」の暗証番号が222と登録してあり、「2」の暗証番号を削除したい場合
  →月曜日「2」の暗証番号を111と登録します。

3）無認証の設定

無認証利用の設定を行います。

［認証する］、［認証しない］ボタンいずれかにふれて、［設定］ボタンにふれます。設定確認の画面が表示されます。

［Yes］ボタンにふれて、設定を確定します。［No］ボタンにふれると［無認証設定］画面に戻ります。

メモ

● 認証設定を変更した場合は、必ず再起動（☞ 28ページ）を行ってください。

充電時間設定

1）充電時間設定画面について

充電時間の選択を行います。

2）充電時間の選択

【充電時間選択】メニュー

［選択する］ボタン

【充電時間選択】メニューの、［選択する］ボタンにふれ、４種類の充電時間を選択することができます。
【充電時間項目】のいずれかのボタンにふれます。

［30分］～［制限なし］のいずれかのボタンにふれ、［選択］ボタンにふれます。
元の画面の［設定］ボタンにふれると、設定確認画面が表示されます。
［Yes］で設定を確定します。

［選択しない］ボタン

充電時間は、出荷時にあらかじめ設定されている時間（60分固定）になります。

メモ

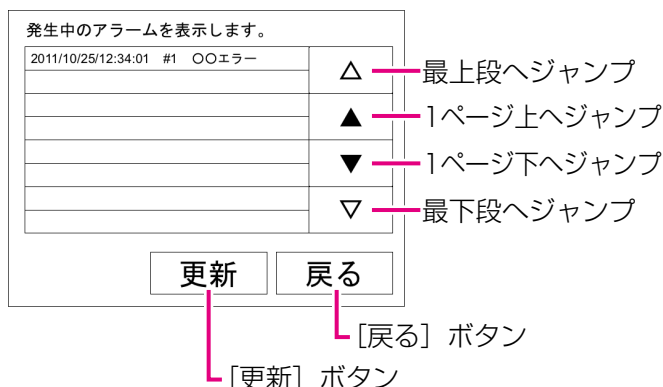
● 充電時間設定を変更した場合は、必ず再起動（☞ 28ページ）を行ってください。

充電設定の変更と保守 6

アラーム表示と履歴

1）アラーム表示画面について

画面最上段が最新の情報になり、下に進むと古い情報になります。

アラーム発生日時は、YYYY/MM/DD/ HH:MM:SS 形式で表示されます。
［更新］ボタンにふれることで、画面をリフレッシュし最新情報を表示します。自動更新はされませんので、ご注意ください。

2）アラーム履歴画面について

ログを保持している期間内の最大1000件のアラームを表示します。

重要
- 半年ごとに行う定期点検で、アラーム履歴を表示し、アラームが発生していないか必ず確認してください。

バージョン表示

1）表示画面について

各機器のソフトウェアのバージョン情報を表示します。

ELSEEV制御プロセス	V01R24
カーネル	2.6.26-at15
ファイルシステム	2012/01/13
充電ユニット#1	2.01
充電ユニット#2	2.01
充電ユニット#3	-
ICカードR/W AP	-
ICカードR/W IPL	-
ICカードR/W PF	-
3Gソフトウェア	Ver1.01

戻る

［戻る］ボタン
保守メニュートップへ戻ります。

ネットワークの設定

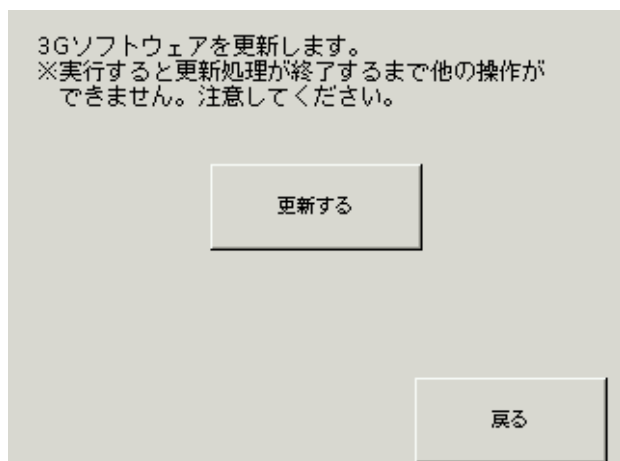
ネットワークの設定を行います。
各設定画面で「戻る」ボタンにふれると、ネットワーク設定のトップ画面に戻ります。入力した設定情報は反映されないので注意してください。

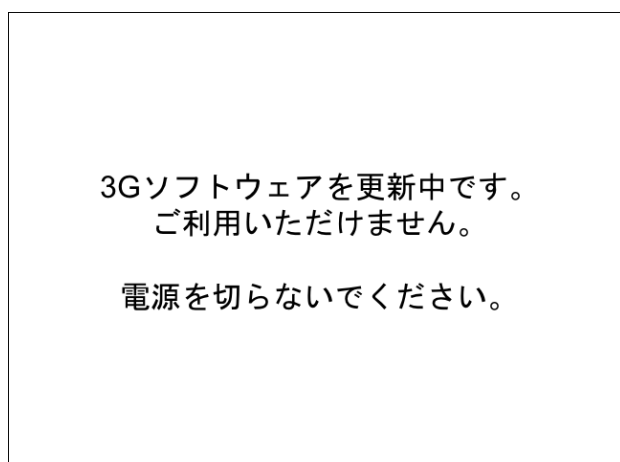
[IPアドレス設定］ボタン
IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの数値を、画面下部の数字ボタンを使い入力します。入力が終わったら「設定」ボタンにふれて、設定内容を確定してください。設定後は再起動してください。

[3G接続設定］ボタン
画面には、現在の接続設定状態が表示されます。
3G接続の設定を、「有効にする」または、「無効にする」ボタンから選択し、「設定」ボタンにふれます。
設定後は再起動してください。

[3Gソフトウェア更新］ボタン
3Gソフトウェアの更新するときに使用します。

重要
- 3Gソフトウェアの更新は、必要な場合以外は行わないでください。
  通信エラーが起きた場合でも、通常は、本操作を行う必要はありません。

充電設定の変更と保守 7

［更新する］ボタンにふれると、更新確認画面が表示されます。
［Yes］ボタンにふれて、更新を実行します。
→更新中画面が表示されます。

3Gソフトウェアを更新中です。
ご利用いただけません。

電源を切らないでください。

更新中は電源を切らないよう、ご注意ください。

重要

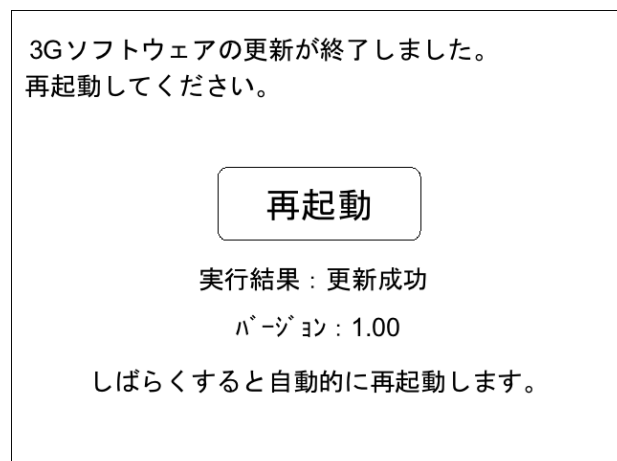
- ［更新する］を実行すると、更新処理が終了するまで他の操作ができなくなります。
  更新が終了すると、更新終了画面が表示されます。

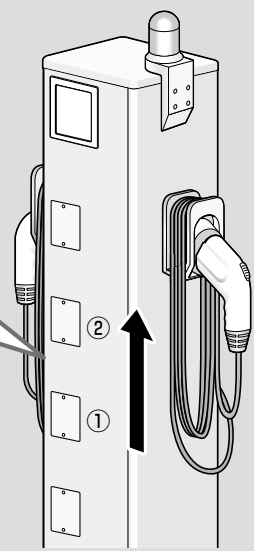
3Gソフトウェアの更新が終了しました。
再起動してください。

再起動

実行結果：更新成功

ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ：1.00

しばらくすると自動的に再起動します。

実行結果、バージョン情報などを確認します。自動的に再起動しますが、［再起動］ボタンにふれて手動で再起動することも可能です。その場合は、更新確認画面が表示されます。［Yes］ボタンにふれて、再起動を実行してください。

［戻る］ボタン

保守メニュートップへ戻ります。

起動・終了操作 ❶

起動手順

重要

- 必ず①→②の順番で漏電ブレーカを「入」にしてください。
  順番を間違えると正常に起動できない場合があります。

メモ

- AF-XC300N1、AF-XC300W1の場合、充電ユニットは1台です。漏電ブレーカ①はついていません。手順4から実施してください。

1 漏電ブレーカ①の確認ふたを取り外す（☞39ページ）

ねじなどを紛失しないように注意してください。

2 漏電ブレーカ①を「入」にする

下の充電ユニットの電源が投入され前面の電源LEDが点灯することを確認します。

3 漏電ブレーカ①の確認ふたを元に戻す

4 漏電ブレーカ②の確認ふたを取り外す（☞39ページ）

ねじなどを紛失しないように注意してください。

5 漏電ブレーカ②を「入」にする

通信ユニットと上の充電ユニットの電源が投入され、前面のタッチパネル画面と電源LEDが点灯します。2～3分するとタッチパネル画面にトップメニュー画面が表示されます。すべての充電ユニットが「使用可能」となっていることを確認してください。

6 漏電ブレーカ②の確認ふたを元に戻す

起動・終了操作 2

終了手順

1 保守メニューからシャットダウンを行う

保守画面に切り換え、システムメニューから「シャットダウン」ボタンにふれます。
確認メッセージが表示されます。「Yes」ボタンにふれます。（☞25 ～ 29ページ）
2 ～ 3分すると、タッチパネル画面に何も表示されていない状態になります。

メモ
- 充電中にシャットダウンを行った場合は、充電が中止されます。

2 漏電ブレーカ②の確認ふたを取り外す（☞39ページ）

ねじなどを紛失しないように注意してください。

3 漏電ブレーカ②を「切」にする

4 前面の各種LEDの消灯を確認する

通信ユニットと上の充電ユニットの電源が切断され、前面のタッチパネル画面とLEDが消灯します。

5 漏電ブレーカ②の確認ふたを元に戻す

メモ
- AF-XC300N1、AF-XC300W1の場合、漏電ブレーカ①はついていません。これで終了です。

6 漏電ブレーカ①の確認ふたを取り外す（☞39ページ）

ねじなどを紛失しないように注意してください。

7 漏電ブレーカ①を「切」にする

8 前面の各種LEDの消灯を確認する

下の充電ユニットの電源が切断され、前面のLEDが消灯します。

9 漏電ブレーカ①の確認ふたを元に戻す

漏電ブレーカ 漏電保護機能 確認・操作 ①

⚠警告

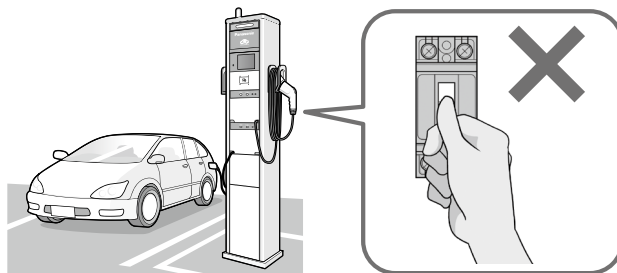
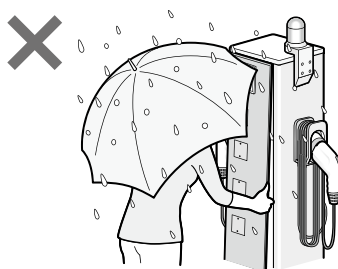
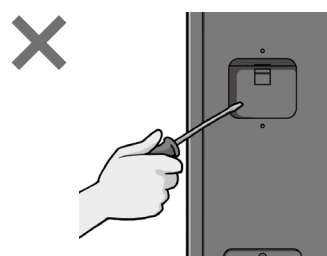
禁止

● 漏電ブレーカやスイッチの確認・操作をする場合は、絶対に電極部に触れない

感電の原因になります。

必ず守る

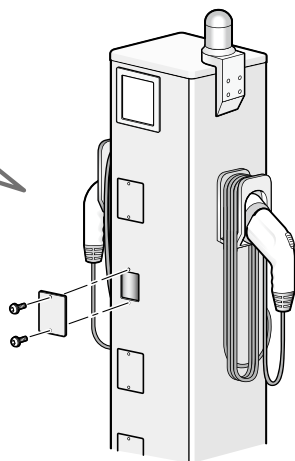
● 漏電ブレーカやLED動作に異常が発生した場合は、漏電ブレーカを「切」にして、直ちに使用を中止する

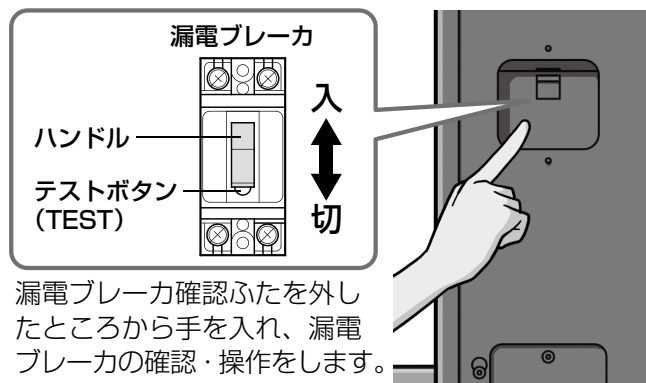
販売店または保守契約店までご連絡ください。

充電中は、漏電ブレーカやスイッチの確認・操作を行わない

雨水が吹き込まないように、雨天時などを避けて、作業する

漏電ブレーカ確認ふたを外したところから、不用意に手やドライバーを挿入しない

漏電ブレーカが「切」になったときの確認方法

● 充電ユニットの電源LEDが消灯している場合は、漏電ブレーカの状態（「入」「切」）を確認してください。

● 漏電ブレーカが「切」になったときは、原因を取り除いてから「入」にしてください。
電源再投入後、すぐ「切」になるときは負荷が短絡状態か、負荷回路の漏電、または機器の異常です。
販売店または保守契約店へ点検を依頼してください。

1 確認したい部位の漏電ブレーカ確認ふたを取り外す

2 漏電ブレーカを「入」にして電源を再投入します

漏電ブレーカ確認ふたを外したところから手を入れ、漏電ブレーカの確認・操作をします。

3 漏電ブレーカ確認ふたを元に戻す

同梱されている特殊工具を使用し、漏電ブレーカ確認ふた固定ねじ（2か所）でふたを取り付けます。

M5×10（ステンレス製）特殊ねじ 締付トルク：3.3 N・m

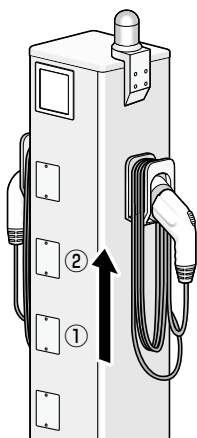
4 保守メニューから「再起動」を行います。（☞28ページ）

しばらくするとトップメニューが表示されます。充電ユニットが「使用可能」であることを確認します。

漏電ブレーカ 漏電保護機能 確認・操作 ②

漏電ブレーカの点検手順

●定期点検時に「テストボタン」を押して、漏電ブレーカが正常に動作することを確認してください。
●最初に保守画面からシャットダウンを行ってください。（☞25 ～ 29ページ）

1 ①→②の順番で漏電ブレーカの点検を行う

重要

●必ず①→②の順番で漏電ブレーカの点検を実施してください。
順番を間違えると正常に起動できない場合があります。

メモ

●AF-XC300N、AF-XC300Wの場合、充電ユニットは1台です。漏電ブレーカ①はついていません。
手順7から実施してください。

2 漏電ブレーカ①の確認ふたを取り外す（☞39ページ）

※ねじなどを紛失しないように注意してください。

3 漏電ブレーカ①のテストボタンを、指で押す（☞39ページ）

4 前面の各種LEDの消灯を確認する

「テストボタン」を押すとハンドルが「切」になり、下の充電ユニットの電源が切断されます。前面の電源LED、充電中LED、タイマー LEDが消灯することを確認します。

5 確認ができたら、漏電ブレーカ①を「入」にする

電源が投入され前面の電源LEDが点灯することを確認します。

6 漏電ブレーカ①の確認ふたを元に戻す

7 漏電ブレーカ②の確認ふたを取り外す（☞39ページ）

ねじなどを紛失しないように注意してください。

8 漏電ブレーカ②のテストボタンを、指で押す（☞39ページ）

9 前面のタッチパネル画面と各種LEDの消灯を確認する

「テストボタン」を押すとハンドルが「切」になり、上の充電ユニットと通信ユニットの電源が切断されます。前面のタッチパネル画面、電源LED、充電中LED、タイマー LEDが消灯することを確認します。

10 確認ができたら、漏電ブレーカ②を「入」にする

電源が投入され前面のタッチパネル画面と電源LEDが点灯することを確認します。しばらくすると、タッチパネル画面にトップメニュー画面が表示されます。すべての充電ユニットが「使用可能」になっていることを確認します。

11 漏電ブレーカ②の確認ふたを元に戻す

お手入れと点検 ❶

お手入れのしかた

- タッチパネル画面が汚れたら、よく絞ったやわらかい布でふいてください。
- 本体表面が汚れたら、よく絞った布やぞうきんなどやわらかいものでふいてください。
- 積雪時は適切に除雪してください。
- 充電コネクタが汚れていたり、水分が付着している場合は乾いた布でふき取ってください。
- 地際部には植栽などの土がかからないようにしてください。

⚠警告

禁止	●**製品に水をかけて清掃しない** 火災・感電や故障の原因となります。 ●**製品に有機溶剤（ベンジンなど）や家庭用洗剤などをかけて清掃しない** 火災・感電や破損の原因となります。
必ず守る	●**充電ケーブルに付着した雨水などが凍結している場合は､40 ℃程度のお湯で解凍してから使用する** 火災・感電や故障の原因となります。

日常点検

- 安全にお使いいただくために、日常点検を行ってください。
- 点検の結果、異常や不具合があった場合は、漏電ブレーカを「切」にして、販売店または保守契約店までご連絡ください。

【日常点検内容】点検頻度　1回 / 1日

周囲
- 可燃性ガスや引火物を近くに置いていないか

タッチパネル画面
- 汚れはないか
- エラーメッセージが表示されていないか

本体
- 布や布団、服などで覆っていないか

取付ベース（地際部）
- 植栽などの土がかかっていないか

照度センサ採光窓
- 汚れはないか

充電コネクタ
- 先端の電極部に異物などが付着していないか
- 樹脂の割れ・欠けがないか

電極部

- 左右が正しく戻されているか

充電ケーブル
- 外被の破れ、内部の電線被覆が見えるような傷、電線の露出がないか

電源LED（緑）
- 電源LED（緑）が点灯しているか

エラー LED（橙）
- エラー LED（橙）が消灯しているか

お手入れと点検 ❷

定期点検

●製品を長く・安全にお使いいただくために、定期点検を行ってください。
●定期点検の詳細内容は、定期点検表（☞43、44ページ）に従い、実施してください。
●塩害地・温泉地など劣化が促進される場所に設置している場合は、点検頻度を増やして（推奨：すべての項目を3か月に1回以上）、点検を実施してください。
●下記の一覧表に記載している部品は、定期的に交換が必要な部品です。
●下記の一覧表に記載している交換目安は、交換を推奨する時期です。
保証期間を示すものではありません。
使用環境によって、さらに短い期間で消耗、劣化する場合もありますので、早めに交換してください。
●定期点検時は、雨水が吹き込まないように、雨天時などを避けて、作業してください。
●点検の結果、異常や不具合があった場合や交換作業が必要な場合は、販売店または保守契約店までご連絡ください。
有料で交換します。
劣化する前に交換することをお勧めします。

⚠警告

禁止

●漏電ブレーカやスイッチの確認・操作をする場合は、絶対に電極部に触れない
感電の原因となります。

必ず守る

●裏板を開け電極部の点検をする場合は、必ず漏電ブレーカを「切」にしてから作業する
感電の原因となります。
●点検の結果、異常や不具合が発生した場合は、漏電ブレーカを「切」にして、直ちに使用を中止する
販売店または保守契約店までご相談ください。

メンテナンス	交換時期の目安（推奨）
定期点検	半年ごとに点検実施 ※定期点検はお客様ご自身で実施してください。
充電コネクタ・充電ケーブル・充電コネクタホルダの交換	3年
通信ユニットの交換	5年
充電ユニットの交換	9年
充電スタンド本体の更新	10年

※充電コネクタ・充電ケーブル・充電コネクタホルダ・充電ユニットの交換は電気工事士の有資格者が行ってください。

■設置後10年程度経過すると劣化が進みますので、更新をご検討ください。
使用環境によっては、さらに短い期間で消耗・劣化する場合もあります。
10年以上ご使用いただく場合は、お客様ご自身で定期点検表に基づき、点検頻度を増やし（全ての項目を毎月1回以上）点検を実施してください。

点検の結果、異常や不具合があった場合や、交換や更新が必要な場合は販売店または保守契約店までご連絡ください。

定期点検表❶

●本点検表を必要枚数コピーしてお使いください。
●点検個所の位置は、各部の名前（10ページ）を参照してください。

●定期点検表に点検日と点検結果を記入してください。
点検結果記入例【○：異常なし、×：異常あり】

●点検頻度　1回/半年

					点検日					
部位	点検個所	点検内容	異常の原因	異常時の処置	/	/	/	/	/	/
充電スタンド本体	外観	さびやさびによる膨れはないか	傷などによるさびの進行	補修塗料による補修または充電スタンド本体の建替						
		変形や傾きがないか	衝突や強い力による引っ張りなどによる変形							
	取付ベース（地際部）	さびやさびによる膨れはないか	傷などによるさびの進行	取付ベースの交換						
	ねじ	緩みはないか	振動による緩み	ねじの増し締め						
	固定ボルト	緩みはないか	振動による緩み	ボルトの増し締め						
漏電ブレーカ	テストボタン	テストボタンを押したとき、「切」になるか（☞40ページ）	内部部品の故障	漏電ブレーカの交換						
位置表示灯	外観	さびやさびによる膨れはないか	傷などによるさびの進行	位置表示灯の交換						
		樹脂の割れ・欠けがないか	衝突や打痕などの強い衝撃							
	位置表示灯（青）	周囲が暗いときに位置表示灯LED（青）が点灯しているか	内部部品の故障							
		周囲が明るいときに位置表示灯LED（青）が消灯しているか	内部部品の故障							
充電ユニット	外観	さびやさびによる膨れはないか	傷などによるさびの進行	補修塗料による補修または充電ユニットの交換						
		傷やへこみはないか	衝突や強い力による引っ張りなどによる変形							
	電源LED（緑）	電源が入っているときに、電源LED（緑）が点灯しているか	内部部品の故障	充電ユニットの交換						
	充電中LED（赤）	充電中に、充電中LED（赤）が点灯しているか	内部部品の故障							
	エラー LED（橙）	保守･漏電テスト（☞29ページ）を実施し、エラー LED（橙）が点灯するか	内部部品の故障							
	タイマー LED（赤）	充電タイマーを設定して、充電しているとき、タイマー LED（赤）が点灯しているか	内部部品の故障							
	漏電保護機能	保守･漏電テスト（☞29ページ）強制漏電／漏電解除を実施し、正常に動作するか	内部部品の故障							

定期点検表❷

					点検日					
部位	点検個所	点検内容	異常の原因	異常時の処置	/	/	/	/	/	/
充電コネクタホルダ	外観	樹脂の割れ・欠けがないか	衝突や打痕などの強い衝撃	充電コネクタホルダの交換						
	取付状態	変形・傾きやがたつきはないか	衝突や強い力による引っ張りなどによる変形							
	充電コネクタ嵌合部	充電コネクタを差し込んだとき、ロックがかかるか	衝突や強い力による引っ張りなどによる変形							
通信ユニット	外観	さびやさびによる腫れはないか	傷などによるさびの進行	補修塗料による補修または通信ユニットの交換						
		傷やへこみはないか	衝突や強い力による引っ張りなどによる変形							
	タッチパネル画面	指でふれて反応するか	位置ずれ 内部部品の故障	保守・キャリブレーションを実施（☞28ページ）または通信ユニットの交換						
		暗くなっていないか	輝度低下 内部部品の故障	保守・輝度設定を実施（☞27ページ）または通信ユニットの交換						
		汚れていないか	指紋、ごみの付着	絞ったやわらかい布で清掃						
	スピーカ	ブザー音が聞こえない	音量低下 内部部品の故障	保守・音量設定を実施（☞27ページ）または通信ユニットの交換						
	アラーム履歴	アラーム履歴が表示されていないか	FOMA等関連システムの不具合 内部部品の故障	保守・アラーム履歴の確認（☞34ページ）または通信ユニットの交換						
日常点検項目の再確認（日常点検内容は41ページに記載しています）										

故障かな？ ❶

下記内容をご確認の上、対処方法をお試しください。

確認の結果、異常がある場合は漏電ブレーカを「切」にして、販売店または保守契約店までご連絡ください。

⚠警告

禁止	●漏電ブレーカやスイッチの確認･操作をする場合は、絶対に電極部に触れない 感電の原因となります。	必ず守る	●裏板を開け電極部の点検やディップスイッチを設定する場合は、必ず漏電ブレーカを「切」にしてから作業する 感電の原因となります。

現　象	原　因	処　置
●充電が開始しない（充電中LED（赤）が点灯しない）	漏電ブレーカが「切」になっている	漏電ブレーカを確認する。（☞39ページ）
	充電コネクタが車両から抜けている	充電コネクタを確実に差し込む。
	車両が満充電状態になっている	車両にて充電状態を確認する。
	内部部品が壊れている	充電ユニットを交換する。 ＊交換する場合は、販売店または保守契約店までご連絡ください。
●電源LED（緑）が点灯しない	漏電ブレーカが「切」になっている	漏電ブレーカを確認する。（☞39ページ）
	内部部品が壊れている	充電ユニットを交換する。 ＊交換する場合は、販売店または保守契約店までご連絡ください。
●充電中LED（赤）が点滅し、エラー LED（橙）が点灯している	異常が発生している	異常発生時のLED表示内容（☞48ページ）を確認し、異常内容を販売店または保守契約店までご連絡ください。
●タイマー LED（赤）が点灯しない	充電していない、または、充電時間選択画面（☞17ページ）で「制限なし」を選択している。	左記の場合は、点灯しません。正常です。
	内部部品が壊れている	充電ユニットを交換する。 ＊交換する場合は、販売店または保守契約店までご連絡ください。
●位置表示灯（青）が点灯しない	照度センサ採光窓の周囲が明るくなっている	周囲の街灯などの影響を確認する。
	内部部品が壊れている	位置表示灯を交換する。 ＊交換する場合は、販売店または保守契約店までご連絡ください。
●位置表示灯（青）が消灯しない	照度センサ採光窓の周囲が暗くなっている	照度センサ採光窓の汚れや、陰になっていないかなど周囲の影響を確認する。
	内部部品が壊れている	位置表示灯を交換する。 ＊交換する場合は、販売店または保守契約店までご連絡ください。

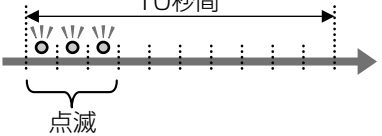
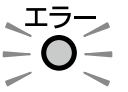
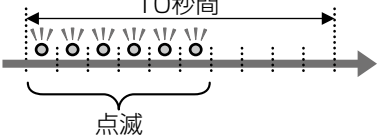
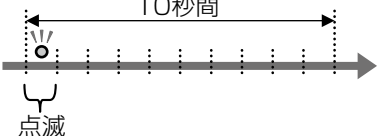
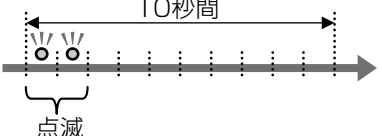
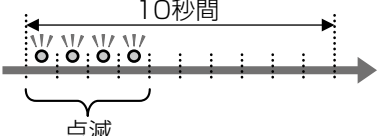
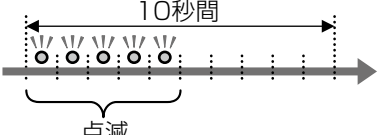
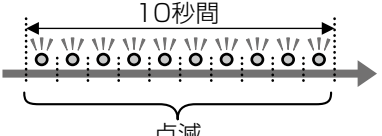
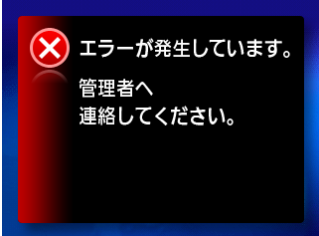
故障かな？ ②

現　象	原　因	処　置
認証に失敗しました。	ICカード、ID・パスワード、または暗証番号が間違っています。	あらかじめ登録してあるICカード、ID・パスワード、または暗証番号を確認してください。再度、認証を行ってください。
連続して認証に失敗しました。始めからやり直してください。 はい	ICカード、ID・パスワード、または暗証番号が間違っています。	あらかじめ登録してあるICカード、ID・パスワード、または暗証番号を確認してください。トップメニュー画面に戻り、始めから操作をやり直してください。
通信エラー 認証に失敗しました。	認証時にFOMAネットワークの通信エラーが発生しています。	エラーの状況により数秒～3分程度かかりますが、認証画面に戻ります。再度、認証を行ってください。 連続して通信エラーが発生する場合は、管理者に連絡してください。
充電コネクタが接続されていません。前の画面に戻り、説明を確認してください。 はい	①充電コネクタが、車両の給電口に接続されていません。 ②接続した充電コネクタが左右逆になっています。（複数台充電の場合）	①の場合、充電コネクタが、車両の給電口に接続されている場合は、一度抜いてください。充電コネクタを給電口に差し込み、「カチッ」と音がしてロックがかかったことを確認してください。 ②の場合、使用している充電ユニットと充電コネクタがつながっていることを確認してください。
使用できません。「サービス時間外」「予約中」「予約者用スタンド未予約」のため、この充電ボックスは使用できません。 はい	以下のいずれかが原因です。 ①選択した充電ボックスが、「予約中」、または「予約者用スタンド未予約」となっています。 ②操作中にサービス時間外となっています。	①の場合、ほかの「使用可能」な充電ボックスをご利用ください。 ②の場合、トップメニューに戻るとサービス提供時間が表示されます。サービス時間内にご利用ください。
0:08 ただいまの時間はご利用いただけません。 充電サービス提供時間 09:00 ～ 22:00	サービス時間外のため、充電開始できません。（サービス終了時刻前に充電を開始している場合は、充電終了まで継続します。）	サービス提供時間をご確認ください。

現　象	原　因	処　置
●タッチパネル画面にふれても操作できない。 タッチパネル画面にふれると別のボタンが反応する。（例：1のボタンにふれたが4と表示される。）	タッチパネル画面が汚れています。	タッチパネル画面をよく絞ったやわらかい布でふいてください。
	タッチパネル画面の位置がずれています。	保守メニューからキャリブレーションを実行し、タッチパネル画面の位置を調整してください。（☞28ページ）
	内部部品が壊れています。	通信ユニットを交換してください。 ＊交換する場合は、販売店または保守契約店までご連絡ください。
●タッチパネル画面が暗い。	タッチパネル画面が汚れています。	タッチパネル画面をよく絞ったやわらかい布でふいてください。
	輝度が暗くなっています。	保守メニューから輝度調整を実行し、タッチパネル画面の輝度を調整してください。（☞27ページ）
	内部部品が壊れています。	通信ユニットを交換してください。 ＊交換する場合は、販売店または保守契約店までご連絡ください。
●音が小さい。（例：認証の音）	周囲の騒音が大きくなり、音が聞こえにくくなっています。	保守メニューから音量調整を実行し、音量を調整してください。（☞27ページ）
	内部部品が壊れています。	通信ユニットを交換してください。 ＊交換する場合は、販売店または保守契約店までご連絡ください。

異常発生時の表示内容

異常が発生すると、充電中LED（赤）が点滅し、エラー LED（橙）が点灯します。また、タッチパネル画面にエラーメッセージを表示します。異常が発生した場合は、LEDの表示内容とエラーメッセージをご確認の上、販売店または保守契約店までご連絡ください。

⚠ 警告

●異常が発生した場合は、漏電ブレーカを「切」にして、直ちに使用を中止する

感電の原因となります。

●LED表示内容

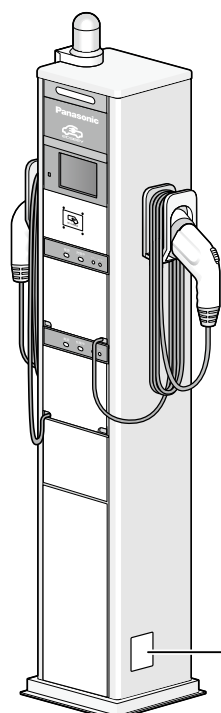
エラー名称	エラー内容	電源LED（緑）	充電中LED（赤）	エラーLED（橙）
漏電エラー	本体と車両との間に漏電を検知	点灯	10秒間に3回点滅繰り返し	点灯
漏電未検出エラー	漏電保護機能に異常発生	点灯	10秒間に6回点滅繰り返し	点灯
出力エラー	充電コネクタと車両が未接続状態で、電源が出力される	点灯	10秒間に1回点滅繰り返し	点灯
非出力エラー	充電コネクタと車両が接続状態で、電源が出力されていない	点灯	10秒間に2回点滅繰り返し	点灯
CPLT エラー 1	車両との接続確認信号に異常発生	点灯	10秒間に4回点滅繰り返し	点灯
CPLT エラー 2	車両との接続確認信号に異常発生	点灯	10秒間に5回点滅繰り返し	点灯
機器異常エラー	充電スタンド本体に異常発生	消灯	10秒間に10回点滅繰り返し	点灯

●エラーメッセージ

エラー名称	エラー画面	エラー内容
その他エラー	エラーが発生しています。 管理者へ 連絡してください。	本製品の故障、電源系の異常、車両側の異常などの障害が発生しています。

品番・製造番号表示位置

品番・製造番号表示位置

●品番・製造番号は、充電スタンド本体の右下のラベルに記載しています。

仕様

充電スタンド本体仕様

品番	AF-XC300N1	AF-XC300W1	AF-XC330C1	AF-XC330W1	AF-XC330R1	AF-XC330N1
充電ユニット	AC200 V 50/60 Hz 20 A×1ユニット		AC200 V 50/60 Hz 20 A×2ユニット			
漏電ブレーカ	BJS3022N×1個 定格電流30 A 感度電流15 mA		BJS3022N×2個 定格電流30 A 感度電流15 mA			
質量 （取付ベース込み）	約50 kg		約55 kg			
定格消費電力 （車両充電容量を除く）	20 W以下					
使用温度範囲	−10 ℃～+40 ℃					
寸法 （突起部含まず）	幅 285 mm　奥行 236 mm　高さ 1500 mm（取付ベース高さを含む）※1					
防水防塵	IP44相当（充電用コネクタを充電コネクタホルダに収納した状態）					
充電ケーブル長	約7 m					
設置方法	ベースプレート方式					
設置場所	屋内・屋外（日本国内に限る）					

※1　充電コネクタ1個装備につき本体幅＋176 mmとなります。

構成

品番	AF-XC300N1	AF-XC300W1	AF-XC330C1	AF-XC330W1	AF-XC330R1	AF-XC330N1
充電コネクタ数	1個	1個	2個	2個	2個	2個
タッチパネル （5.7インチカラー液晶）	○	○	○	○	○	○
ICカードリーダ		○		○	○	
3G通信		○	○	○		
LAN（有線）	○	○	○	○	○	○

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	（　　　）　　－
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは

「故障かな!?」（45 ～ 47ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	高機能タイプ充電スタンド
●品　番	AF-XC300N1/AF-XC300W1 AF-XC330C1/AF-XC330W1 AF-XC330R1/AF-XC330N1
●製造番号	充電スタンド本体右下のラベルに記載しています。（☞49ページ）
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 7年

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

本機は外国為替および外国貿易法に定める規制貨物、規制役務に該当しますので、輸出する場合には、同法に基づく輸出許可を取得するなどお客様の責任において、必要な手続きをお取りください。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル 携帯･PHS OK **0120-878-410**（パナハ ヨイワ） 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニックSSインフラシステム株式会社

〒224-8539　神奈川県横浜市都筑区佐江戸町600番地

PYQX1004YA/J1
N0112-1072